京城日報

朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金九拾錢

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 田口政太郎 京城太平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社

列強大戰

▲獨軍計略

獨軍は危險を冒してリガ、ウイルナの中間を突進し目下ドウインスクを攻撃中なり之れドウインスクに對し南面包圍を行ひ之れをウイルナより分離せしめんとの計略に出づるものなり（露都發）

▲勃國突擊準備

勃牙利首相ラドスラヴオフは發表して曰く勃牙利軍は今や將に塞耳維を突くべく準備中なりと（倫敦發）

▲ウイヂノ占領

ヒンデンブルグ軍の前衞はウイルナ及びドウインス間の鐵路を越え今やウイヂノを占領したり（紐育發）

○大演習と航空隊

來月中旬青森縣下に於て行はるべき陸軍特別大演習に於て軍事上最も注目すべきは航空隊の活動にして殊に今回の編成に關しては青島包圍戰の實戰に於て得たる經驗を基礎とし且つ歐州の戰爭に於ける航空隊の活動に鑑み空中偵察爆彈投下を初め壯烈なる空中戰闘の實戰的活躍を試み戰術上に一新紀元を來す可きを期待されつゝあり而して今回の航空隊編成に關しては總て參謀本部に於て諸策を講じつゝありしものにて未だ機密に屬するも仄聞する處によれば參加飛行機數は十二臺にして六臺宛を南北兩軍に分屬せしむべしと（東京特電）

○米價調節と鮮米

農商務省の米價調節機關設置に對し一部當局中には朝鮮米の移入税を復活し鮮米の壓迫力を殺ぐべしと説く者あり又鮮米を官營にす可しと主張するものあり大阪の朝鮮貿易組合は當局にて斯の如き議論を抱くものあるは以ての外とし總督府の鮮米に對する意嚮を確むるため組合員近く渡鮮すべしと（大阪特電）

○北極の大地發見

ノーム（アラスカ）來電に曰く北極探檢家ステフアツン氏はプリンス、パトリック島の西南に重要なる土地を發見したる旨加奈太政府に報告したり（紐育電報）

○大阪商議員入京期

大阪商業會議所職員一行は十月京城に於て開會さるゝ全國商業會議所聯合會に出席を兼ね共進會を觀覽すべく來二十八日午後八時三十分大阪發京城へ向ふべし（大阪特電）

●ス博士の總督統治評

總督招莚の演説（承前）

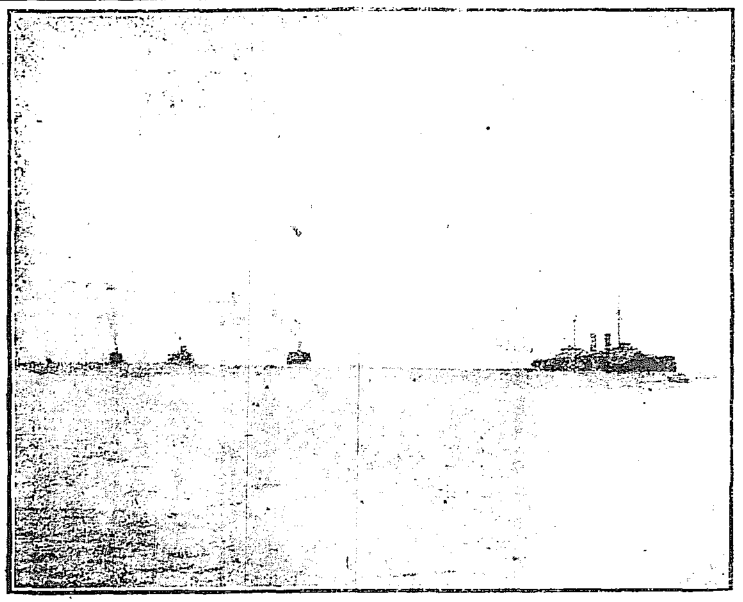
近時教育規則並に布教規則の發布あるや、其趣旨は一に朝鮮人を同化するの政策に出し者にて我々は之れを諒とするに吝ならざる者也、朝鮮に於ける傳道の事業は全然法令を遵守すべきのみならず鮮人に對し能く法規の命ずる處に從順ならしむるを努むべく畢竟政府の方針と相一致するを期せざるべからず、即ち在鮮宣教師は政府の人民に對して國民的精神及び品性を涵養し以て同化の目的を達せんとする政策に副ふべきは言ふ迄もなく決して朝鮮人に外國の風習又は思想を注入するが如き不逞の言動に出づるが如き事は斷じて許さゞる處なり凡そ政府が世界の進歩に後れたる人民を統治するに於て幾多の困難を感ずる事は何れの國にもあることなり其内の愚昧なる人民は往々政府の

▲眞意を誤解する傾きあるが爲め彼等を扶掖誘導するに於て常に耐忍と明智を要する上に總督閣下が能く此の困難の事業に對し著々其効果を收めつゝあるは吾等の甚だ敬服に堪へざる處あり、故に我々は政府の所爲の正當なることを確信し平生意思の疏通を圖りて人民の狀態を改善する方面に向つて共同的動作を爲すを衷心欣ばずんば非ず、閣下は前きに

▲將來の進歩に注意せよと述べられしが如何にも今後益々鮮民を改善し開發して其目的を達せらるべきを疑はず而して此國民をして其幸福を增進し益々繁榮に赴かしむるに於て我々は終始政府の援助に努むる者なることを發明し且つ深く閣下の此意を諒せられん事を望まざるべからず（完）

因みに小松局長はス博士に關し左の如く語れり

予は前記午餐後總督府事務室に於て米國總領事ミラー氏と共にス博士と鼎座懇談一時間餘に渉りたり自分は今日迄宗教界又は學術界の有名なる人物にも屢次會見したるが宗教界に於ては前年來鮮せる萬國宗教協會長モツト博士及び今回來京のス博士の如き日本を了解し居りて頭腦の明晰驚くの外なし又其意見の如き誠に公平無私にして何人も首肯すべき所なるがス博士今回の旅行は朝鮮のみならず近く内地にも赴かるゝ由にて單に宗教關係に止まらず廣く日米の國交上にも少からざる好影響を與ふべきを疑はざるなり



仁川港頭第二艦隊一齊投錨（右端先頭より旗艦肥前、周防）

●提督入京

十九日午前七時の仁川埠頭は沖合遙かに碇泊せる第二艦隊の間から勇ましい艦載水雷艇が織るが如くに往來して名和司令長官、森山司令官、加藤參謀長、各艦長、各幕僚、將校等の上陸あり、頓いで白の海軍服にゲートルを著け肩には淺黃色の彈藥嚢と水筒を十字に負ひて勇ましき第二種軍裝に身を固めたる水兵六百五十餘名は隊伍堂々仁川停車場に向ひて午前七時五十分ともなれば一同は客車九輛を連結せる臨時列車に乘り同驛出發京城に向ふ沿道の田園を窓き車中歡談湧くが如き間に列車は午前九時南大門驛着プラツトホームにては寺内總督代理を始め井口軍司令官其他官民多數の出迎ありて名和提督、森山司令官は馬車に其他艦長幕僚は各自腕車を驅つて總督邸に向ひ水兵は案内の警官に誘はれつゝ共進會場に赴く、驛頭の壯觀實に言ふ可らず市中また此の佳客の來訪に歡迎の意を表せり

●露國の大注文

昨今來より東洋毛斯綸會社にて露國行き絨の下請負をなしたる總金額は千五百萬餘圓にして過般全部の納入を完了したるが引續き五百萬碼の新注文ありたり之を引受くや否や目下研究中又佛國より東洋紡績會社に向け綿布二千萬反の注文入り込み來りたる由なるが同社は既に二回に亘りて露國より巨額の綿布注文を引受け目下其製造に忙殺され居り到底本年中に右佛國の注文品を製造し能はざるを以て之を拒絶したりと（大阪支局）

●仁川八月豆類

仁川八月中豆類輸移出は三萬七千八百一圓にして前月は六萬二千七百五圓前年同月は一萬七千三十九圓なり前月に比し約二萬四千九百四圓減少せるは内地の需要の減退せる爲にして相場安の影響に買薄きを以てなり前年に比し二萬七百六十二圓の增加を來せるは前年本品好況を呈したる爲め地方の持品は移出し盡せる狀況なりしも本年は之に反し不況なりしかば兩々乍ら積出絶えざりしに因るものなり兎に角端境期に迫れる事とて大勢に於て減少するは自然の現象と云ふ可きか相場は龍山物五圓九十錢見當なりしも出廻り薄の爲め中旬六圓見當に引締りたるも不相變品拂底の爲め月末は六圓二十錢迄上進せしも最早や底入模樣にて幾分氣配好し仁川穀物協會の月末在庫高は大豆三千四十九叺小豆六千七十六叺也

●鑛業大會日程

來る二十五日より開會す可き全國鑛業家鑛業會日程及び十九日迄決定せる出席者左の如し

九月廿五日（自午後一時至午後五時講演）
同 日（自午後六時總督官邸晩餐會）
同 廿六日（自午前九時至午後同上）
同 日（自午後六時至午後十時倶樂部）
同 廿七日（未定）

▲出席者 和田維四郎、福岡製鐵所次長工學博士服部漸、農商務省技師細井岩彌、古河合名會社飯島純介（以上講演者）旅順工科學堂教授川井平太郎、南滿鐵道會社地質研究所長木戸忠太郎、鑛業家島德藏、撫順炭坑長工學博士米倉清族、三菱合資會社工學博士原田鎭治、福岡鑛業家松本健次郎、同代議士堀三太郎、鑛業家中野德次郎、東京高田商會員廣田理太郎、三菱合資會社員堀悌三郎、鑛業家竹内明太郎、工學博士横堀治三郎、淺野總一郎、鑛業所技師前川益次、福岡鑛業家日下部三九郎、福岡縣炭鑛長石渡信太郎、久原鑛業會社工學博士竹内維彥、九州大學教授工學博士高壯吉、福岡鑛業家工學博士末廣忠介、東京帝國大學教授理學博士神保小虎（以上來賓）

□共進會入場者

十八日（土曜日、晴）

内地人	三千四百九十七人
朝鮮人	一萬三千二百六十二人
支那人	百二十八人
外國人	百五十六人
無料券	二千百六十二人
合計	一萬九千二百〇四人

●立花總長嚴父逝去

久しく病氣中なりし立花警務總長の嚴父頑氏は藥石効なく遂に十九日午前一時逝去したる旨通知ありたり葬式は二十日午後二時東京府下豐多摩郡代々幡村字佐々木三百番地の自宅出棺青山齋場に於て神式を以て執行すべしと

●審査部長會議

第二回審査部長會議は十八日午後二時より共進會審査會議室に開催持地部長以下各部長出席審査に關する諸般の事項に就き打合の上午後四時散會したり

●女子事務員募集

京城協贊會に於て女子事務員數名缺員あり希望者は同會千秋閣事務所に申出づべしと

人事消息

▲大橋新太郎氏（京城電氣會社長）廿日午前八時五十分南大門驛着入京
▲人見次郎氏（人事課長）は十八日午後釜山發丸にて上陸京城へ
▲釘本藤三郎氏（京城實業家）は同上
▲原島善之助氏（總督府技師）今回官を辭し東京に轉居することゝなり廿一日出發の筈
▲渡瀬常吉氏（牧師）來る廿三日出發の筈
▲松本雜太郎氏（浪明校幹事）用務にて内地へ
▲木村雜太郎氏（咸鏡道議員）十九日朝京山（廿日再び入京の上内地へ）

南言北語

英國元帥キツチナー將軍は去る十五日議會で大演説をやつて居るが其の中に獨人として誇るに足るべきは或場合に非常な犧牲をも顧みず要塞の占領に全力を注ぎたる事なりと▲笑つて知らん獨逸が今回の大戰に於て採れる要塞攻擊の手本には日本の旅順攻擊であると云ふ事を御存知ないらしい▲明治三十七年日露の風雲が急になつた時カイゼルは早くも股肱の探偵グレイプスを旅順に遣はして露國の要塞を視察せしめた▲其れから愈々日本軍が攻擊を始めると最も細心を拂つて日本軍の行動を見て居たのはカイゼルである而して旅順陷落を一番早く推知したのもカイゼルである事は當時の獨紙が傳へて居た▲今度此の日本軍の戰術を其儘應用して好果を收めつゝあるのに未だ英國ではお氣が付かれぬと見える▲尚ほ同元帥は要塞戰に關し猛烈なる武器に堪へ得る最も有効なる築城法は事實上唯一の方法は迅速に地中を掘鑿して壍壕に據るにあり之れ從來の築城よりも遙に良好なる防禦地點を形成すと▲之れも日露戰爭で實地に應用して旅順などでは日本軍が大分苦戰したのは之れだ、今更の新發見でもあるまい▲獨逸の戰爭が上手なのは日露戰爭に於ける日本軍の良好な戰術を手本にして居るからだ、露獨戰線に獨軍が始終攻勢を採つて全線が巧みに進んで行く處は奉天戰の日本軍の作戰に能く似た處がある▲獨逸にコヅキ廻されて居る米國は今度墨國に武力干渉を始めると云ふ前大統領タフト氏迄も止を得ぬと云つて居る▲米國が墨國に垂涎も古いものだが成程今なら漁夫の利も獲よう▲豪いものには庇古垂れて弱者いぢめは餘り見上げたものでもない▲獨逸に對する立腹を此處で晴らされては墨國こそ好い面の皮だ▲其れとも内治上國民に對するウヰルソン大統領の政策かも知れねぜ……

家屋敷及田畑山林の所有者は是非とも一本を購へ
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
朝鮮不動産商業 登記申請書式並心得
紙數三百六十頁 定價金八十五錢 郵税金六錢
◎附錄 朝鮮不動產登記令、登記法、同施行規則
◎殘本少し……賣切近し……速に御申込あれ
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

◎第六十三回勸業債券 五分利拾圓券 賣出
◎一等には貳千圓の割增金を附す
◎初回くじびきは來る十二月
◎來る九月十六日より同月三十日まで
日本勸業銀行及各地代理店、取扱店並に郵便局にて

ROMAJIで引く 國漢辭典
最新式
外國語學校助教授 柴田猛猪先生 近藤久吉先生 合著
好評 五版
忙しい世の大なる要求は簡便で氣の利いた而して引き易い辭書である尤も從來の以呂波字引のやうなものがあるとしても何れも舊式で到底今日の時勢に適しない本書一冊さへあればどんな語でも引き出せる知らない音と發音一つで面倒な假名遣を知らなくとも勞力の經濟だけ出來るか分らない時間と學生實務家の第一に利用すべき辭書だ
全一冊 三五版上製美本總來上等紙一千二百餘頁 定價壹圓特價八拾錢 郵税八錢
見本進呈
東京市日本橋區本銀町 株式會社 啓成社 振替東京一二〇五五番

朝鮮總督府 蔘精（人蔘エキス）
朝鮮開城產 高麗人蔘
京城南大門通五丁目 朝鮮總督府官鹽元賣捌所 朝鮮總督府蔘精元販賣所 板倉支店 電話長二七七一番
魚津製 カーバイド朝鮮一手販賣 板倉支店

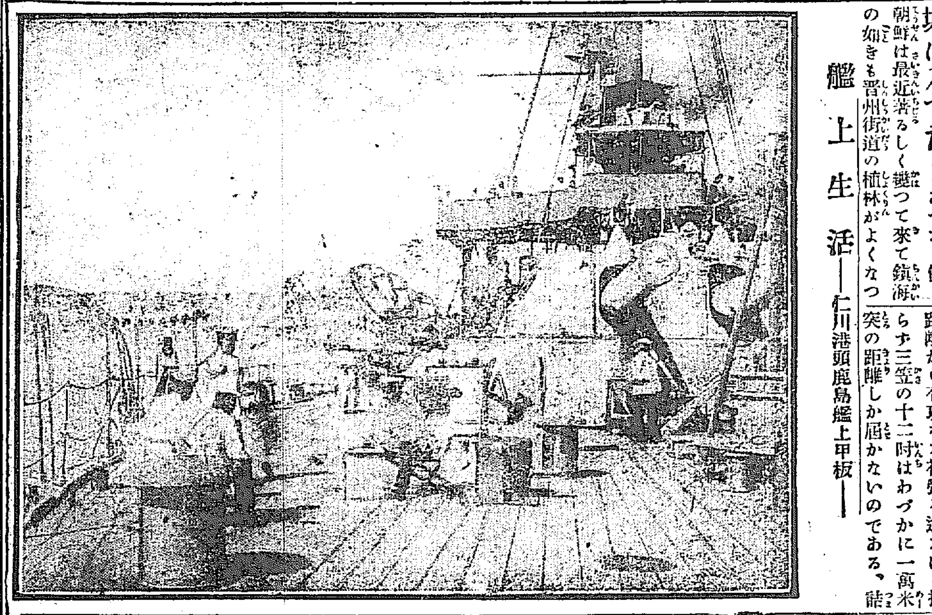
來り觀よ、悦んで迎へん
名和第二艦隊司令長官談

名和中將麾下の第二艦隊の艨艟が堂々仁川港頭に現れて港外遙かに山の如く碇泊した十八日午後の壯觀は實に勇ましなんと云ふ許りもなかつたが次で鹿島、三笠、肥前、周防の四艦と初霜、響、白雪、松風、野分の各驅逐艦の間には艦載水雷艇が縦横に駛る小蒸汽が來る、端艇が出る海上時ならぬ賑はひであつた、中にも先頭第一番に投錨した旗艦鹿島の大檣頭には色鮮やかな將官旗飜り、十二吋の巨砲の砲身の輝き、喇叭の響き信號旗の旗風なんど雄風そゞろに肉躍るの感がある

將官室に至つて司令長官海軍中將名和又八郎閣下に敬意を表すれば長官は莞爾として語つて曰く『自分は去る四十四年春から昨年四月迄主として南洋方面に居たので最近は朝鮮に來なかつた、併し四十一年鹿島艦長の時に一度來たこともある、更にむかし談を試むれば、明治廿四年頃にも來た、又日清戰爭の始めには仁川から漢江を溯り野砲八門をもつて京城に入つたこともあつた、併し朝鮮は最近著るしく變つて來て鎭海の如きも晉州街道の植林がよくなつた、又鮮人漁船の如きも大に改良が能きて來て總じて一般の面目が一新したやうに見える、共進會も大分繁昌の様子だが殊に閑院宮殿下の御台臨で一層盛大な事であらう、又われ〳〵も數日間仁川に來たのであるから此の際一般の人々も大に軍艦を觀て頂きたい、殊に學生々徒の如きは是非此の機會に觀て貰ひたい、海上の生活は見らるゝ如く非常に忙がしいので日々の日課は一度豫定が狂ふとあとが能きない程時間の餘裕がない、這回も鎭海灣方面で猛烈な演習を行ひ恒例檢閲を濟してやう〳〵やつて來た次第である、何海上生活は愉快かといふのか、馴れると矢張り海上が好いなう。』

軍艦を見て何を考ふ可きか
第二艦隊參謀長心得加藤海軍大佐談

『見らるゝ如く鹿島、三笠の戰艦は最早今日の戰爭に要求する艦として駄目になりました、日露戰爭當時私は旗艦三笠の砲術長をして居たので、當時の苦戰の狀況も知つて居るし、殊に國民精神教育の上にも光榮ある三笠の艦體は永久に遺したいが現代軍器の進歩は軍艦扶桑の如きを出し一艦にして十四吋砲十二門を有する時代となつたから堅艦扶桑一隻に對し此處に居る四艦が對抗しても及ばぬのである、大口徑砲を積むだ軍艦の價値ある事は這回の歐洲の海戰でも充分證據立てられた事で先づ扶桑と三笠が對抗した場合彼は約二萬米突の遠距離から有功なる初彈を送るにも拘らず三笠の十二吋はわづかに一萬米突の距離しか屆かないのである、詰り當方からまだ一發も發たぬ前に擊沈さるゝ譯である、この事は英獨海戰中南米智利沖に於ける英艦隊の敗北とフオークランド沖の獨艦隊の全滅とに見るも爭ふべからざる事實であつて勝敗の決は既に其の噸數、速力、武裝の上から大略決せらるゝのである、然るに近時獨逸潜航艇の奇襲を以て大艦巨砲不用論など唱へる人もあるやうだがこれは以ての外の誤りである、獨の艦隊がキール軍港の奥深く蟄伏せるは何の爲めぞ、詰り英の艦隊から戰ずして敗けてゐるからである、併しわれ〳〵は常に經濟々々でやかましく云はれて居るからイザとなれば武力によらず氣力により精神によつても身を挺して驀進する覺悟であるがどうか軍艦見物の方は此の邊を考へて觀て貰ひたい、併し昨今は國民一般に軍事上の智識が普及し軍備に就いて眞摯なる研究が試みられつゝあるのは幸福である。



艦上生活——仁川港頭鹿島艦上甲板——

遊覽日和
出たわく 日曜の共進會

十九日は日曜の事とて共進會場は素晴らしい人出であつた、朝まだき頃は秋の空も曇つて今日の天氣を氣遣はれたが開場時間の十時前になれば曇は次第に晴れて雨氣のない白雲を掩うた見物には持つて來いの日和とあつたので其頃からの光化門前の人通りは櫛の齒を曳く樣、殊に目立つて見えたのは夫婦連れに小供連れ家族同伴の見物が殊の外多かつた、京城市中の小學生徒は先生に引率せられて一應見物をして居るからお父さんやお母さんより會場の道順が詳しい會場に入ると直ぐ『お母さんあれが鐵道特設館なのよあそこケーブルカーと云ふのがあるのです』第一號館に入らない先きに鐵道館に入つて乘りたくて乘りたくて仕樣のなかつたケーブルカーに親子で乘る、斯う云ふ連中が幾十組となく押掛て來るので今回はケーブルカーも滿員續き一號館、二號館、審勢館、參考館美術館、機械館、東拓館も大賑ひ、殊に日曜日の餘興場は又格別で、演藝館出演の藝妓妓生等も氣を利かして今日は早く來て開場も平素より早く『御代の榮』と『ついのよるべ』の舞には午前中から演藝館に詰めかけた觀客で滿場立錐の餘地もない盛況各道の賣店から一般の賣店も多數の客を引いて奥の餘興場の興行物は朝早くからドンチヤン〳〵の大騷ぎ松並木から奥の方を一周り廻はつて慶會樓に出る邊一帶は却々の賑ひであつた特に此日は仁川に碇泊してる第二艦隊の下士卒が上陸入京したので場内何處も彼處も勇ましい水兵服が徘徊してゐた

慶會樓上の歡迎宴
海軍の諸將共進會場を訪ふ

十九日正午第二艦隊幕僚准士官以上五十五名の將校は腕車を飛ばして共進會場正門に來り協贊會役員の案内にて慶會樓に入り休憩す、時に名和司令長官、加藤參謀長、下村鹿島艦長、久保三笠艦長、中島肥前艦長、岡橋周防艦長等二十餘名は森武官の案内にて數臺の馬車を驅りて迎秋門より來場し興業場を一巡して慶會樓に入る、之れより先き協贊會にては一同を歡迎す可く階上、西と南の欄干に近く二箇所に白布を敷きたる長卓を並べ小宴を張る可き用意整ひ居たれば、吉原會長の案内にて一同階上に登り、西側の卓には名和司令長官等三十二名と主人側よりは吉原會長、金谷副會長、馬詰接待係長、大村、丙の兩理事、南側の卓には准士官以上五十五名と先きに來會せる金物大會一行の同じく協贊會の招待にて同所に茶菓を喫するあり、その間に妓生十數名の斡旋し、樓閣の下池水波靜かなるところ白鳥の群れ遊ぶ風情の云はん方無きに小型のコダック出して撮影するなど歡笑盡くるなき折柄總督總監邸に敬意を表し昌德宮の訪問を了した名和司令長官、森山司令官、加藤參謀長、大橋機關長、久芳人事課長定めの席に著き吉原會長簡單なる挨拶を述べ名和司令長官之れに答へ直ちに宴に移る、雪白の卓上には紅紫の草花を配し舞姿の妓生その間に斡旋するあり所は是れ絢爛の宮殿人はこれ我名譽の將星彩光映發して交歡の盃重なるまゝに盛觀言ふ可からず軈て一同歡を盡し二時係員の案内にて演藝館に入る演藝館にては一行の爲め特に番組を變更し廣橋券番の妓生舞踊、春鶯囀、大花絲、無專舞等を觀覽に供したる由司令長官首め何れもこの妓生舞踊の華麗にして雅やかなるを賞しつゝいて共進會本館の各部を順次觀覽したる後一先づ旅館に歸り午後七時總督官邸の招宴に赴けり

慶會樓上の宴（十九日午後一時慶會樓上にて左より五人目名和司令長官）

水族館めぐり
(二) 鮫の一族郎黨
京城の太田さんから 仁川の次郎さんへ

仁川の水族館の中には色々の珍らしい魚が這入つてをりますが順序として先づ第一號魚槽の中に御來客のほしざめから初めます此の第一號には他にどちざめも御出に成つてゐるのですから六七疋が同じ槽の中で遊んでるのですほしざめは名前のやうに□背の上に星の點々があるので灰白色であります此の魚は白鮫から變形たので仁川にあるのは長さ三尺位のものですが深い海に居る時は六十尺以外もある深い處に棲息するのです、幼い小さい時は内海や灣の中で育つのですが小さい時は人が見のうくりと云つて居ります、太郎さん此の魚は湯びきにされて酢味噌で夏分に好く僕等の膳に上つて來ます内の父さんは晩酌の時に大好ですよ町の方ではかまぼこに製造して鮮魚の少い時に使ふやうにやります此の兄弟分でどちざめ君が居りますがこれは仁川に居るのは四尺位だけども五尺に餘るのがあるのです體は灰色で腹の方は白いのです背の方は鞘になつて居ります、どちざめ君は頭が無く輪郭に短い棘があつて□仁川の海邊にも採れるが實で主に暖地に生れるのですこれも矢張り食べられるのです第一號槽の中には此の兄弟分が二種類居るのですが此の兄弟分には未だ色々あるよく人が食はれるあの恐しい青鮫は長さは一丈もあつて深い海の底に棲んでゐて陸上のライオンみたやうに暴力を振ふのです魚を食ふばかりで飽き足らず人類まで腹の中に入られるのです日本の近海から大西洋に澤山居るので春から夏の候に漁師から取られて來て魚餅となるのです未だ兄弟分にしゆもくざめと云ふのがあります名の如く頭の形が撞木のやうで大さは一丈からあるのです此奴中々の子

□三四十疋の兒を產むのです深い處でも淺い處でも餌を嫌はず棲んで冬分は深い海に逃げて行くのです、溫熱の兩帶に住むのです、日本では南の方の海に獲れるんですよ、此の他に髭武者で名のあるひげつのざめと云ふ七八尺の大きさめもあれば、さびざめと云ふて海中の岩礁の間を飛んで廻つて貝、蟹などを食ふのでなくて吸ふてやるのだから一寸變です、尚ほてふざめと云つて毛唐人の國で珍重がられるのもあります、此の種類の魚は二十餘種もありますから今日はこれで止めて明日は第二號槽内に鎭座まします、むつごろにへ、はもを御通知せ申ます

人らしい二人伴『彼の鮮麗な丈で二十錢の値打はあるよ』『彼の鮮人さ彼の衣裝だけでも見て置かればのう』『ウム安いもんだ』▲大平町にて一少年の述懷『僕はね君、五錢玉一つ持つて共進會に行つて一日遊んぞつたんや、するとその歸りにのう、足にかチヤンと財布が打突つた、拾うて見たら十二錢あつたのや、直ぐ活動に行つたんで、でもまだ二錢殘つとる、共進會は三錢で、活動は只で見たやうなもんや』馬公記者曰く不屆の少年よ

朝鮮全道神職大會
寺内總督引見

朝鮮全道神職會は去る十五日より十九日迄京城神社に於て開催せり重要なる決議事項は御大典に關しては勅令第百九號に準じて祭典執行の件神社規則實施に伴ふ準備の件明治神宮へ獻木の件神社中心主義の普及並に朝鮮人をして神社を崇敬せしむる方法に關する件皇典講究分所設置等に關して議する處あり十八日午前十時寺内總督の招集により一同總督府會議室に於て總督の訓示あり谷村理事一同を代表し挨拶を述べ別室に於て澤田第一課長の神社規則に關する説明あり午後李王職へ伺候仁政殿秘苑等を拜觀共進會を觀覽したり

▲慶會樓池畔のベンチに倚つた鮮人さ内地人の會話――鮮人『彼のお猿さんは口から水を吐いてゐますれ、いつまでもいつまでも』内地人『噴水ですよ』鮮人『何處から水を飲むのです』内地人『水はお尻の方から入るのです』鮮人『尻から飲んで口から吐くのでは道理が違ひますれ、どうも可笑しい』内地人の獨言『成程尻から滑稽して口に吐き出してゐるのだからね』▲もう交換手に小言は云はれえよ『俺は』と一人の青年『どうして』と女の伴『二號館の交換手を見たら、彼の構内丈でも那樣に忙しいんだもの、局の交換手などどんなに忙しいか知れんよ』▲演藝館から出て來た

馬賊百名大擧して長白府を襲ふ
採木公司員拉らる

本月十六日未明鴨綠江上流長白府へ約百名より成る馬賊の大集團來襲し各所に火を放ちて燒打を爲し盛んに發砲して掠奪暴行を恣にせるが見る〳〵到る處に火災焰々として起り阿鼻叫喚の聲全街に滿ち宛然修羅の巷を現出るが其際採木公司長白府分局亦襲撃を受け賊徒は屋内に闖入し亂暴狼藉到らざるなく分局員近藤某外一二名は遂に人質として賊徒の爲に拉去されたりとの報あり當時急報に接したる對岸の惠山鎭なる守備隊及び憲兵隊は直ちに出動賊徒の驅攘に努めしかば流石に猛威を振ひたる賊團も遂に四方へ散亂するに至れりと云ふ

▲金儲けなき人へ 大日本產勵獎會は主事中田子爵監事西元學士等の經營にして金儲け法の冊子を無代配布すると云へば希望者は同會へ宛て郵料切手八錢を送るべしとなん 東京市本郷區新花町

新築落成 當る廿日より開館
新派悲劇 渡し守り
活劇泰西劇 眞夜の客
喜劇 坂田金時
封功寫眞提供
本町壹 有樂館

金銀牌受領
髪を黑く長くつやを出しさらくとして髮のぬけるを防ぐ妙
本椿香油 毛を黒し長くす
本舗大阪 三宅堂

ポマード
世界的の髮油
『パール』をつかへば『ドナタ』にもよい どこへ出ても『ひけ』は『とらぬ』
關西代理店 大平尾贊平支店 大阪

煉香油
『一筋』『づゝの』『しなやかで』『毛があつまつて』美しい髪 房々した『美しい』『髪』となる
ラヂウム液本舗 東京 平尾鉱也商店

胃病ならイの一番ホ イカイ胃散
●飲過ぎ●食過ぎ●消化不良●りういん胸の痞へ●慢性胃弱
價十錢 廿錢 廿五錢
大阪江戸堀 本舖

大黑天印甲斐產葡萄酒
純粹國産
宮内省 陸海軍 市醫 總督府 官衙 病院 御用
朝鮮發賣元 京城西小門通 弘昌商會 電話二七九七

キッド革の大王 山羊印 センチユリーキッド
各皮革問屋に於て販賣致居候
製造元 米國費府マクニリープライス社
東洋總代理店 大阪市西區北堀江上通二丁目一番地 合名會社野崎大阪出張所
朝鮮販賣元 宮崎商店

履物問屋 井商田屋弟 大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町 電話東百九十番 振替大阪四一八八

父碩儀豫て病氣の處本日午前一時死去致候に付此段謹告仕候
追て明二十日東京府豐多摩郡代々幡村字代々木三百番地自宅出棺午後三時青山祭場に於て神葬執行致候
九月十九日
立花小一郎
友人總代 野田卯太郎 山形閑

仁川四銀行帳尻 八月中の朝鮮、十八、百三十、朝鮮商業四銀行
他所へ割引代金立替手形 [illegible]
▲預金取扱高 [illegible]
▲貸金取扱高 [illegible]

九月二十一日 九星 舊八月十三日 乙卯 本命六白

連絡船上陸客 十八日午前 ……

天氣 晴れ後曇り 九月二十日

日出 六時十七分

五彩の華光陸離として 絢爛を織り出す夜の家庭博

さらでだに賑かな太平通りの夜は十八日の夜から開かれた家庭博の夜會でます／＼賑はつて來たのも面白い會場前を飾る無數のイルミネーションが彩色絢爛の華かさを現じだして共進會の往き還り道行く人の眼を奪へば小川の水の流るゝが如く或は木の葉の囁くが如く或は雷鳴の轟き渡るが如き複雜な**自動オーケストラは絶えず變りゆく旋律に人足を駐めて**會場前は七時頃より閉場時間の十時半頃まで群集するので道路取締りの騎馬巡査や警官が制しても制しても制し切れぬ位の盛況を呈しました會場内の各館には瓦斯電氣を十分に點じたので晝間と些しの異りもなく**一號館の瓦斯風呂、瓦斯台所、瓦斯座敷こも悉く瓦斯を用ゐたので**殊の外美しく觀えます、夜分來觀の方には御家族連れが多く『晝間一度來たが共進會の夜間開場に行つたから寄つたが夜も中々綺麗ですね』といふ與樣が大分ある、運動場には中央に大孤燈が爛々と光り輝いて各即賣店の電燈、提灯と共に此處も亦晝の樣な明るさなので子供連は大喜び、各遊戯場は盛に賑ふ、代理部の賣店では大蓄音機を据えつけて勇ましい進行曲や種々な唄をやつて居る、家庭博の記念繪葉書も三枚一組十錢のが入場者に限り七錢となつて居りその上記念スタンプが捺してあつて切手もありポストもあるので代理部で硯を借りては認めて出す人が尠なくない**九時過ぎからは共進會歸りの入場者が押すな／＼**でやつて來て『草臥れた草臥れた』と休憩所に這入て紅茶、菓子などを喫ふので各賣店共大賑ひ閉場時間が來るまで大に遊んで全く人影がなくなつたのは十一時過ぎだつた

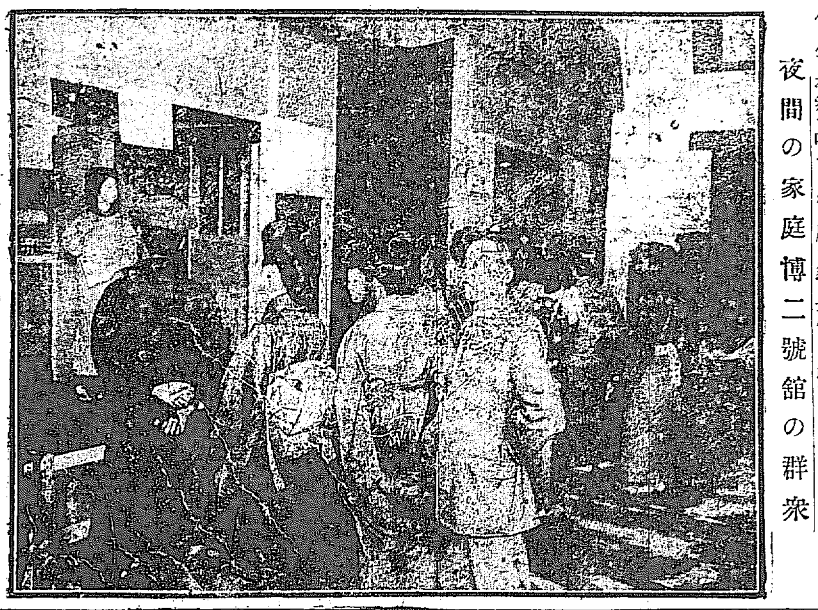
北まはり 懐しき古郷よ

神崎憲一

六年振の香を問ひまつらざりし不孝の罪を謝すべく四時間は餘りに短かきに失せしも三十時間の隙を利用せんと行き行けば翠葉しげく田の面黄金に波打ち早や刈り入れに急がしき早稲もあり四時唐津に著き父の白髪と弟の成人びたる姿に迎へられやがて生家に著けば昔し乍らの田園のさま坐ろに幼時を追懐に堪へず野風呂に入り裏の畑より摘み取りし野菜料理を涙さ共に呑み込み先づ兩親の健康と弟妹の成長を見屆けしのみにて八時弟妹姪等に送られて故郷を辭す思ひいと深し(十八日午後九時門司發電)

生鷄卵と牛肉に注意せよ

生鷄卵は從來結核菌を媒介するものと云はれて居たがこれは細菌のことで普通肉眼に見えざるより注意する人も少く平氣で喰べられて居た然るに本町四丁目の鈴木藥店主は這回鷄卵の裡から條蟲を發見して朝鮮の生鷄卵は危險な食物であるといつてゐる、條虫は長さ二寸許りのもので偶然生鮮な生鷄卵のしろみの内から發見されたのであるが多分條蟲の卵が鷄卵の内で發育したものであらうといふ兎も角一般の人が注意すべき事である、其他朝鮮の牛肉には條蟲が多く鯛の魚肉にも西鮮地方のものには條蟲の卵を發見するから用心すべき事なるが殊に朝鮮人の野菜類には十二指腸蟲、蛔蟲、條虫等の卵が附着して居るからこれ等は是非共一度よく煮沸して用ふべき事である



夜間の家庭博二號館の群衆

全北不正量器取締

全羅北道警務部にては去月各憲兵隊警察署に命を傳へ時日を限り道内一齊に度量衡器の取締を實施せる結果量器所持者にして幸に處罰の難に遭ひたるものとては更に皆無なるも注意破毀せるもの六百七十一箇其他修繕を命せられたるもの四十二箇の務官急の注意に曾ひ洗滌又は掃除を爲したるもの二百三十三箇なりしと

天安より

▲郵便局の落成 忠南天安郵便局新築工事期間は五月十日より十月十日迄なりしが該工事は九月九日を以て全部設計仕樣書通り竣工し檢査官吏立會の上無事引渡をなし九月十日より郵便取扱事務は開始し居れり ▲大神宮の落成 天安郡邑内南山公園に大神宮改築中の處九月十日を以て落成したるが落成式及び大神宮祭典は來る二十五日を以て擧行することに定めたり

第二艦隊將校

司令長官 中將 名和又八郎

參謀長 大佐 加藤寛

▲參謀中佐松下頭治郎 ▲同少佐亥角喜藏 ▲同大尉古賀案一 ▲副官少佐宮村吉通 ▲同大佐大橋省 ▲軍醫長(心得)軍醫中監 ▲主計長(心得)主計中監 ▲司令部附大尉丹羽四郎 ▲同機關少佐稻田輝太郎

第二戰隊

司令官 少將 森山慶二郎

▲參謀少佐池田他八 ▲同大尉近藤信竹

▲鹿島

艦長大佐 下村延太郎

▲副長中佐樺山可也 ▲航海長少佐藤田稱藏 ▲砲術長少佐 ▲水雷長兼分隊長少佐 ▲分隊長大尉 ▲同 ▲同 ▲同 ▲機關長機關中佐 ▲軍醫長 ▲主計長 ▲同 ▲同

▲三笠

艦長大佐 久保來復

▲副長中佐宮村曆造 ▲航海長少佐有澤四十九 ▲砲術長 ▲水雷長兼分隊長 ▲分隊長 ▲同 ▲同 ▲同 ▲機關長機關大佐 ▲軍醫長 ▲主計長 ▲少主計

▲肥前

艦長大佐 中島資朋

▲副長中佐四竈孝輔 ▲航海長少佐武内康吉 ▲砲術長 ▲水雷長兼分隊長 ▲分隊長 ▲同 ▲同 ▲同 ▲機關長 ▲軍醫長 ▲主計長

▲周防

艦長大佐 丸橋彦三郎

▲副長中佐石井鉦吉 ▲航海長少佐池田孝作 ▲分隊長 ▲同 ▲同 ▲同 ▲機關長 ▲軍醫長 ▲主計長

第二驅逐隊

司令中佐槙地鋭二 ▲機關長機關 ▲軍醫長 ▲主計長大主計清水敬一

○初霜

驅逐艦長少佐 ▲乘組大尉 ▲同中尉 ▲機關

○響

驅逐艦長大尉 ▲乘組 ▲同

第九驅逐隊

司令中佐有馬秀通 ▲機關長 ▲軍醫長 ▲主計長

○白雪

驅逐艦長大尉池田武 ▲乘組 ▲同

○野分

驅逐艦長大尉 ▲乘組 ▲同

○松風

驅逐艦長大尉 ▲乘組 ▲同

家庭博覽會記念出版

家庭救急法 「醫者の來るまで」

之れは總督府醫院醫官室谷博士が家庭に於て急場の間に合はす醫療の方法を親切に解り易く繪入説明で述べられたもので是非一部家庭に備付けて置かなくてはならぬ貴重の本であります

家庭博場內賣店にて 一部代價僅か五錢

演藝案內

壽館

壽町 電一〇五〇

當る十五日初日の筈なりしも內地大人の爲め三日延愈々十八日開演仕候 ▲本月十八日より高貴御前講演の榮を辱ふしたる淨瑠璃界の女傑娘義太夫竹本燕糸一座(十二名)外 ▲當地は共進會期中に付特に目下東京より大入興行中のもの招聘仕り候間初日開演より陸續御來館の程只管奉願上候也

大正館

櫻井町 電話八七三番

九月十六日より特別大寫眞仕候 ◎實寫日本オクヒツク大會の實況 ◎喜劇石油工 ◎滑稽新馬鹿大將 ▲日活會社最近の傑作 ◎佛國エクレール會社傑作 ◎新派大悲劇『二人妻』全三卷八十五□ ◎泰西活悲劇『燈臺の秘密』全二卷 ◎兩親に死別して ◎舊劇『安達ケ原』全三卷 ◎八幡太郎義家奥州征伐所謂後三年の役方同族良任宗任の兄弟を征し皇威を東奧に輝かし多年の亂を鎭定せし武將の大勳功を現せし大活劇なり

浪花館

明治町 電話二六〇番

浪界之四天王名人京山若丸一行來るいよ／＼當る廿日より開演仕候 初日讀物 ▲前座員數名出演 ▲吉原白人斬(京山繪造) ▲乃木將軍、召集令、川崎工學士(座長若丸) 座員數名出演に付晴雨に不拘當館は必ず午後六時に開演仕候

黄金館

黄金町四丁目 電話二六三七

九月十八日より全部差替 天然色活動寫眞會社滿鮮一手代理店 ○寫眞獨軍の横暴 ○滑稽コツクの勝利 ○實寫傳説たる白耳義首府(惨たり悲たるブラツセル) ○泰西悲劇『運命の小箱』全二卷 ▲母は賊軍の毒刃に依て倒れ幼き子は孤子となつて漁師に救はれ父母がかたみの小箱は海底に埋もる孤子長じて船長となり十幾年の後不思議なる運命の小箱は海底より現はれて孤子の世の道を開く人生の裏面を書きし悲劇 ○而して雨宮桃村熱誠なこめて説明す ○新派劇『亂れ髪』全五卷廿五場 劇界の新幹部高瀬淺次郎、大井新太郎、關淸榮出演此の劇を見て新派劇の眞價を知れ俠妓梅香は辛き悲しき浮世の義理に血涙を呑んで戀しき男を思ひ切り岡田の之助は戀と義理との柵にからまれて梅香に別れて後家澤井義政は悲惨なる二人に同情して泣き泣き悲しき義理と誠と戀とに支配さるゝ劇にて眞に近世の花なり流行劇なり見よ藝妓として見ざる人は京城藝妓の資格なし(今回は寫眞長尺に付正七時より開館仕候 ○大德川の加歌御覽券發賣仕候 ○音樂隊の招聘に應ず申込は電話四七七へ

御成座

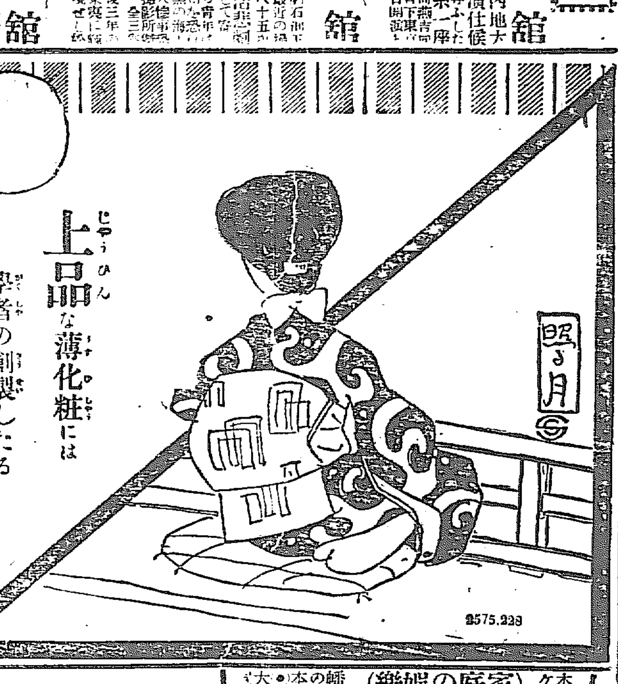
御成町 電話一九一

第六回替藝題 明治の賊 ピストル强盗 全九場 二番目 お玉が池 全二場 右は大車輪大活劇にて演じます ▲登場人名 伊津美次郎、石黒史郎、桂木時夫、川上一明、芳川秀人、吉田操、藤井隆之介、宮土重、澤野健之助、酒田君夫、菊池紫一、淸川二郎、日川一志、日野萬兵衛、小役水野絹子

有樂館

新築落成 本町 電話二六六

當る九月廿日より當館日活特選の大寫眞提供 ◎實寫パテー時事週報 ◎喜劇『婦人の廣告』◎喜劇『ボツプスの惡戯』 ▲伊太利チネス會社傑作 ◎探偵奇譚『眞夜の客』全二卷 ▲日活會社最近の一大傑作尾上松之助大一座出演 ◎舊劇『坂田金時』全四十場 清和源氏の嫡流源の頼光の家臣坂田藏人と云ふ者あり身柔弱なりしも忠勤者として殿の御寵愛深かりしため同僚の惡侍四人は種々惡計を廻らし藏人に恥辱を與ふ藏人は無念の餘り遺言して自害なす妻八重桐は既に藏人の胤を身に宿し居たりしが夫の遺言に依り恥辱を雪がん爲め足柄の山奥深く入込み山姥となり産落したる一子の養育怠りなかりき此一子後年賴光の臣四天王の一人となり名も坂田金時と改め父の仇を討ち取り最後に足柄山に歸り母山姥に孝養怠り無く終世した ◎新派悲劇『渡し守』山崎長之輔一座長尺上下二卷 本卷は今容帝都に於て廿日續非常なる大喝采を取りたる大寫眞 事の廻りは渡し守彌七と云ふ者の娘お玉と云ふ隣家深者惡婆の誘拐に掛り波瀾曲折此お玉に眼を敷の若旦那芳松此又お玉の親族に當る太助の長男久太郎に命迄もと打込んだのが村長の娘今小町さ評判の美人花枝なり内容極めて廣く暗黑と光明と相射ち相鬪ひ花咲き笑ふと思へば風起り雨飛び雷鳴り君子あり悪僕あり女優あり惡婆あり妖婦あり千態萬狀惡むべき者戀しむべき者錯綜離紛恰も人間成敗のパノラマ史を捲き出す如き悲の悲新派悲劇渡し守の全篇は此度新築落成と共に東京より招聘の辨士一同大車輪熱心を以て御照會致しますれば何卒賑々敷御來館を乞ふ



上品な薄化粧には 學者の創製したる最新式薄化粧料

白色美顔水

▲**秘密を一つ** お傳致しませう。皆樣はよく少しも態とらしい所がなく極く自然的にすつきりこ美しく氣持の快いお化粧顔の人を御覽になるでせう。そして餘程お化粧上手の方が何か秘密な遣方で行らないでは彼あは行かぬこお思になるでせう。所が案外にも彼程の化粧が實に勞なく出來る時節こ成ました。彼は有名な桃谷研究試驗部で、顧問の丹波

▲**山本両博士**の下に技師の三藥學士が完成した白色美顔水でお化粧したのです。さあ直試して御覽なさい。實に勞なく實に見事に全で生れつき色が白い人其儘の白さに附ます。一體

▲**從來の婦人**のお化粧は白ペンキの樣に白いか何こなく薄黑いか斑かで凡て態こらしいか又は充分に綺麗に行かないので、婦人の苦痛の種になつてゐたのですが、白色美顔水で、此

▲**心配が滿足**に解決されましたので、婦人方の喜び此上なく、忽ち大變な人氣を引起したのです。此品は一寸見た處は水白粉の形ですが、併しお使になれば直お分りの通り、決して

▲**たゞの水へ**白粉を溶込んだ樣なものでなく、桃谷研究試驗部の學者の新發見で、美容上從來にない效力のあるものこ認められた或原料へ、或特殊の白粉を溶込んで創製したもので

▲**白粉の生命**こいふべき被覆力が強く、光澤の極美しく、色の清淨純白な、質の極微い原料こ新美容成分の不思議な作用で、生れつき色が白い樣につく化粧美のみならず更に生地の

▲**皮膚の營養**こなり素顔の美を增す特色が在ます。自然的な本統に美しい化粧の途は此品で始めて開かれました。專任の三藥學士も、是は確に成功だ、こ言つて自信を示してゐます。

宮內省御買上品

定價一瓶貳拾錢

大景品附大聲蓄音器大割引責任販賣

本機は機臺の直徑壹尺五分高さ五寸五分喇叭口徑壹尺四寸の八枚鏬ニッケル摶造キング式原動機にて音律正確發聲頗る大なり今回五百臺限注文者へ

◎壹臺金八圓五拾錢

左記大景品進呈す望の方はハガキにて申込次第荷爲替附にて送る萬一不向の節は責任を以て無割引他品交換又は返金す

景品 (運賃及寄造箱代壹圓五拾錢)

景品 練盤音譜即ち「レコード」壹等品浪花節奈良丸赤垣源藏德利の別れ、雲右衛門五郎正宗孝子傳、京山小圓の佐倉義民傳、中川伊勢吉の博多節カチユーシヤ、歌舞軍樂隊、筑前琵琶常陸丸以上拾種替針二百本進呈 ○音譜練盤壹等品二百回使用保險兩面六拾五錢(定價表無代進呈)近頃玩具的蓄音器を誇大に廣告し注文者へ迷惑を與ふる不德商店あり注意されよ

大阪東區上本町五丁目停留所南入 振替大阪二五〇八二 南一二三八 發賣元 大阪蓄音器商會

(家庭の娛樂)

本町一丁目三越呉服店前

活動寫眞 高等演藝 有樂館 電話二六六番

來る廿日午後六時より開館仕候

■フヰルムは最も嶄新優秀
■辯士は東京一流揃出演
■設備は館內特等、一等二等各等共高尚

可愛い御子方のむしけ、かん、ちゐねつ、ひきつけ、夜なき等の持薬

小兒に宇津の救命丸

本舖 東京下谷區 根岸 宇津 藥價 十錢 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 二圓 三圓 五圓

機械油カーバイド

車輌機械油 日本石油會社機械油九州一手販賣 信濃電氣會社カーバイド西部一手販賣

本店 門司市錦月町(電話囿五一五番) 製油所 新潟市關屋大川前(電話囿三二三番)

岸商店

始政五年紀念共進會參觀の爲め仁川へ入港の帝國軍艦

鹿島 三笠 肥前 周防

各軍艦エハガキ本日より賣出し

仁川宮町(電話三二番) 澁川エハガキ店

開業御披露

御膳 志る粉 楓月

東京 京城南山町一丁目

▲諸手形取扱高 種目 仕向高 被仕向高 當座預金 小口當座預金 其他諸預金 計

大岡政談 越後傳吉

第百五十八席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

鷲の宮の大助が笠に掛つて 大『ヤイ此野郎、見損なやアがつたか鷲の宮の大助だ、縄を解く事は出來ねエからどうでも勝手にしやアがれツ』と言つて反物をすばツと叩き付ける、反物の間から二十五両包みの金が飛出すと激勢といふものは恐ろしいもので、新之助の額へ是れが打當つた金の小端で額を打切つたからタラ〳〵と血が流れる 新『アツ、手前は男の面へ疵を付けたな 大『疵を付けたがどうした言草があるなら勝手に言草をいつて見ろ 新『モウ勘辨が…… 大『ヤイ〳〵、手前は刀の柄へ手を掛けてどうするんだ、己を斬らうといふのか箆棒め、年は老つても鷲の宮の大助だ、手前のやうな小二才に斬られるやうな耄碌はしねエ、サア抜くなら抜いて見ろ』勘忍袋の緒が切れたから新之助が一刀の柄へ手を掛けて抜かうとしたが考へた、自分は今こそ博奕打、侠客風情の身であるが天下の旗本八百石多田三左衛門の二男、甲斐源氏の嫡流甲陽の名家に生れ乍ら物數ならぬ蛆虫を對手に命を捨てる、先祖へ不孝我身の恥、是れは一先我慢をして立歸つた上で分別をしようと考へましたから疵口を押へて 新『イヤ是りやア飛んだ御無理を願ひました、何れ改めて御挨拶に出ますから御免下さい 大『勝手に來い、逃隠れはしねエ鷲の宮の大助だ、何時でも來い、野郎へ鹽花を振つてやれ、縁起の悪い野郎だ』新之助は反物と金を持つて表へ出たが家へ歸りやア乾兒が騒ぎ立てるに違ひない、どうしたものだらうと思案し乍ら馴染の茶屋へやつて來て 新『内儀御免よ 内『オヤ入らつしやいまし日野屋の親分、お珍らしいぢやアございませんか、アラどうなすつたんでございます、額から血が出て居るぢやアございませんか 新『ナニ今向うから材木を積んだ車を牛が曳いて來て己れが此方から考へ乍ら行つて激勢で打付つたんだ、牛方が平目のやうになつて謝つて居るものを何とも言へねエ、お互の粗忽だ、それで勘辨してやつたのよ 内『まア危いぢやアございませんか、急所でなくつて好い塩梅で何か膏藥を上げませう、是れが大層利くさうでございますから 新『さうか、それは有難い大した事はねエから心配しなさんな何しろ一本燗けて呉んな 内『畏りました此方が宜うございますよ親分』と坐敷へ案内する、酒肴を持つて女中が出て來て 女『親分能う入らつしやいました ○『親分御機嫌宜うございます 新『相變らず皆な美くしいな一つ酌をして呉れ』酒を飲んで居りますが一向酔はない、忌々しい奴は鷲の宮の大助どうして呉れようと思つて居りますから酒がトンと旨くございません、反物を出して 新『内儀まア一日やんねエ 内『有難うございます 新『これは詰らねエものだが、京都の土産だ、他へ遣らうと思つたが止にしたからお前にやらう、布團にでもしな 内『まア親分、こんな結構な品を頂戴しては濟みません 新『まアいゝや、其からこの金も何だ皆な内分にしてやつて呉れ 内『親分いけませんよそんなにまア大金を 新『宜いてエ事よ、禮をいふ程ありやアーしねエ、何だか今日は馬鹿にムシヤクシヤして面白くねエから皆な集めてドン〳〵騒いで呉れ 内『どうも有難うございます、皆な親分へお禮を申上げてお呉れ 女『親分有難うございます』其から頻りに酒を飲んで騒いで居ります其中に日が暮れてしまふ 新『何時だい 女『もう五ツ少々過ぎました 新『其ぢやア歸らう 女『お宅へお歸りですか 新『ナニ他へ行くんだ 女『浮氣を遊ばしてはいけませんよ 新『大丈夫だ是りやア茶代だ、餘は男衆にやつて呉れ 女『どうも銘々に相濟みません 新『大きに厄介になつた 内『親分有難うございますお氣を付けて入らつしやいまし』一同に送られて新之助茶屋を出て何處といふ當もなくブラ〳〵やつて來ると二三間先へ三四人の男が話し乍ら行く ○『どうも何だな日野屋の新之助なんてエ奴もカラ意氣地のねエ野郎だな △『さうさどうも呆れ返つた腰抜けだ、親分に額を叩き割られてグウの音も出ねエで踊りやアがつた』

五百年來家傳製法
需要者と製造元との接近は現代の要求なり……
電話にて御注文被下候はゞ直接御届致し升……
三味醬
電話九八二番
遠藤商店
京城太平通

本場
ちゝぶ銘仙
新荷着
京城本町二 ちゝぶや
電話八九〇番 振替三〇二番

警視廳發賣許可
内務省衛生試驗所試驗濟
東京市衛生試驗所試驗濟
無害 きらが染 赤毛用

安全コクオー
安全コクオーは……
よけなり かぶれたり
安心して染られます

安全コクオーで
生際だけ
徳用な白髪染です

きらが染 赤毛 褐 用
專賣 大阪 高橋盛大堂薬局
京城本町 高橋盛大堂分店

模倣手の多い様な品物は乾度人氣も高く賣行も非常に盛んなり數多き自轉車用空氣入タイヤの中唯の一つより無き本物のタイヤといへば

ダンロップ

商標

●到る處の自轉車店にあり

空氣入タイヤ製造業の開拓者
製造元 ダンロップ護謨會社 ●東京●神戸
朝鮮總代理店 京城永樂町二丁目 橋本商會出張所

自動車にも効果の確かなダンロップタイヤを使用あれ

美の素
クラブ洗粉は
秀でたる技術上の經驗に依て年々改良に改良を加へたる
皮膚を美化する美身料として
醫學者間にも著しき其の効果を認めらるゝに至れり

流經新薬レスノリン
月やく
五ケ月以内に効果てきめん
とまり四
に現はれ共流經作用の確實なると他薬に優越す●薬價一瓶壹圓送費卅錢切手一割増説明書三錢切手封入申越進呈
大阪市北區曾根崎上一丁目三六 發行所 常盤薬院 替大阪二八三七〇

今朝……
消化と毒けし
仁丹
召上りましたか
金言 事業は人世の鹽なり（美國諺）
仁丹召上つてイツモ爽快！

京城日報

年中無休刊
(大祭祝日翌日休刊)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 郵送に新聞稅共三ヶ月壹圓九拾錢 六ヶ月三圓七拾錢 △郵券代用二割增

廣告料 △五號活字一行金七拾錢 △欄內一行金壹圓貳拾錢 △所指定一行金壹圓五拾錢 △三號活字は五號活字の二行 △一號活字は六號活字同樣

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 松口政太郎
太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 三四五番 一二二四番 營業 三二八番 一六〇〇番 振替貯金口座京城三〇六番

朝鮮開發の五年

五 財政と金融 (四)

税制の整理

舊韓國政府時代に於ける稅務行政は諸般の行政中最も紊亂を極め、課稅の基礎は確實を缺きて不法の徵收行はれ、人民は負擔の苛重に苦しむに拘らず徵收したる稅金は正常に國庫に入らず、私曲弊竇百出するの狀態なりき、されば帝國政府の韓國內政の監督に任ずるや、先づ稅制の整理に著手し、不法の徵收を禁じ負擔の公平を圖り、徵稅機關の監督を嚴にすると共に徵稅の方法を改良し、更に租稅事務を地方行政より分離して特別徵稅機關たる財務監督局及び財務署をして司掌せしむる等弊流の芟除に努めし結果併合前に於て既に宿套の稍々改めらるゝを見たりと雖も、未だ完璧を期する能はざりしが、併合以來新政開始に伴うて官紀を振肅し、徵稅機關を收めて財務は之を地方官の管掌に歸し、以て惡弊の一掃に努め、又一方稅務全般の整理に就ては、賦課の基礎を鞏固にし課稅の公平を計り、徵稅の方法を改善し、徵收事務の監督を嚴正にし、又地稅令市街地稅令及び煙草稅令を發布して將來課稅の基礎を鞏固にせり。今各稅につき併合以後施設整理せられたる事項の大要を述ぶべし。

地稅 從來韓國には各郡に地稅賦課の臺帳即ち量案を存したれど其の異動整理をなさゞる爲實際賦課の用をなさず課稅の基礎甚だ不確實なりしを以て總督府に移りて府郡及び面に結數連名簿を備ふる事となり其結果漸次結數の增加を來して明治三十八年に九十一萬八千餘結に過ぎざりしもの大正三年三月末日には百七萬四千餘結に達せり。又由來朝鮮には地圖の設備を缺ぎたりしを以て四十五年三月課稅地見取圖の調製に關する規定を發布し大正二年に及んで各道全部の完成を告げ、之によりて土地の所在を明かにし課稅上の取扱が便利となりたるのみならず、土地所有權の保障を確實にし、地籍の整理上一段の進步を見るに至れり。更に當局は結價及び結數の整理を行ひ從來小作人が地稅を納めたりしものを地主納稅に改め、財政上の整要と人民の負擔力とを考量して大正三年度より地稅の增徵及び市街地稅並に煙草消費稅を新設したり。而して地稅增徵の理由は從來地稅が土地の收益に比し極めて輕微の負擔に過ぎざるに近年地方經濟の發達、日鮮輸移出稅並に內地に於ける朝鮮產米及び籾移出入稅の廢止は著しく穀價を騰貴せしめ、爲めに土地の價格を增進し土地所有者の利益を增加せるは顯著の事實なるを以て地稅を增徵するも人民に於て苦痛とせざるのみならず經濟上良好の結果を收め得べしと認めしに由る。其の增徵の方法は從來一結の稅率八圓より二十錢に至る十三級ありしを十一圓より二圓までの七級に改めたるにあり、其結果約四割を增徵する事となれり。

共進會 出品概觀 (七)

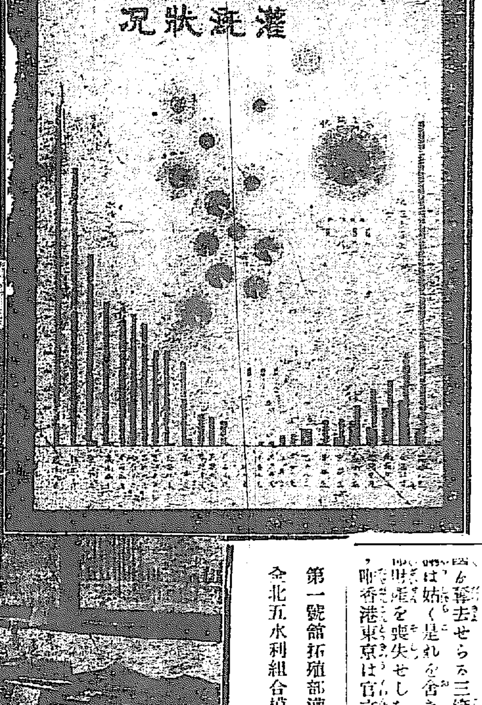
第一號館(拓殖)

▲農漁移民の成績

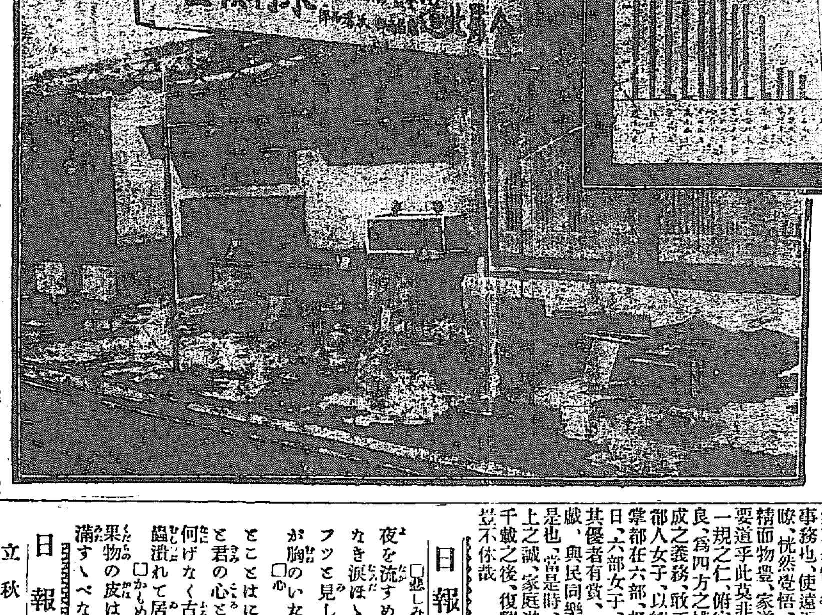
第二部拓殖館は第一號館內の東北隅に在て七十一坪を劃し移民成績並に開墾灌漑の二類に分る、移民は南北に陳列棚を設け南手を農業移民、北手を漁業移民の陳列所に充てたり。南は全羅北道金堤郡內に於ける石川縣移民を筆頭として全北益山郡內細川農場、慶北達城郡內朝鮮扶殖農園、忠南論山郡內國武農場等相並び北手は全北沃溝郡內及び全北群山附近の佐賀縣移民、全南務安郡內移民代表者竹本某等の出品順次相次ぐ、農業移民中石川縣の陳列棚は移民戶毎に製れる俵を以て棚を圍繞せる處頗る人目を惹き、漁業移民中佐賀縣の出陳にかゝる遠海出漁船の模型は附近の出品物とかけ放れたる點に於て觀覽者の注意を喚起するに足れり

▲開墾及灌漑事業

西、林業部に隣り南、人蔘並に移民と接せる第十六類開墾及び灌漑は其出品殆んど模型を以て占められ何れも特種の設備を示せり、其中重なるものを擧ぐれば忠淸南道論山郡の灌漑模型は形容美ならずと雖も自動水揚機を捉えて三十二尺の間地に揚水し冬季供用の要なき時季に在りては之れを其高地上の溜池に溜溜する作業を示せるものにて揚水器の構造精細を極め、密陽水利組合は河底の工事に特種の設備ありて岩石及び泥上にて造れる全景の右側には河底工事の橫斷面を現はせる別個の擴大模型を出せり、又た京畿道抱川郡永中面の水利模型は鐵線蛇籠の工事に特種の注意を惹かむが爲め模型臺の下部に蛇籠を圍らしたるは面白き趣向といふ可く、水原郡李王職所管の牧場模型は揩溝掛を拔く此他場の中央に据えたる模型中全羅北道全益、臨益、南部、臨沃、沃溝南部の五水利組合を打て一丸となせるものには樋口閘門等工事の要所を擴大して獨得の設備を現はし、不二興業會社の出品に成る大正水利組合は工事の完成後と其以前を對比して水利事業の農產上如何に緊要なるかを覺らしむ。猶ほ九十三萬圓の巨資を投じ他地方に先じて水利の事業を起せる慶南進永郡內村井農場をはじめ、忠北堤川郡義林池の灌漑、高陽農場の未開墾地、大塚農園の新墾地等の各模型其他寫眞、成績品等何れも當事者の好資料たらざるは無く、又た東方の壁間に揭げられたる一對の大統計は土木局の出品にして右手は鮮內に於ける既往及び現在の灌漑狀況を示し、左手は始政以來五箇年間に於ける堰堤並に洑の修築成績を示せるものにして觀覽者をして中央道路の上部に吊せる國有未墾地貸附圖表と共に第二部內に於ける出品物の綜合的觀念を與ふ處また必須の參考出品と謂ふ可し



第一號館拓殖部灌漑狀況統計



全北五水利組合模型

避暑漫筆

十三、大風

大谷光瑞

特に氣象の如きは常人は其必要を知らず否これを應用するの知識を有せざるを以て多くは無用の感をなし平常に費用を吝み是れが能力を充分に發揮せしめず俄然襲來するや人命財產を全喪し茫然天を望んで無情を歎じ名けて天災と云ふ其慘憺む可しと雖も其愚及ぶ可からず東亞細亞に在りては香港最も衝に當り其災害最も甚し而して氣象臺長も亦最も大風を豫知するに長ずと雖も其來るや茫洋たる海上より突如襲擊するを以て電線の利器を應用する能はず失敗亦頗る多し次は上海徐家滙天主敎僧侶の經營せる氣象臺長なり支那沿岸に達するに先ち必らず香港、臺灣、先島列島の關門を通過するを以て香港に比すれば電線を利用する餘地を用ゐ失敗卒なりと雖も本年七月二十八日の如きは決して豫報に成功せりと云ふ可からず本邦東京氣象臺は又困難なる地位にあり臺灣と先島列島に殺到する如きは茫洋たる海上より來るを以て香港と同一の運命を免れず加ふるに支那東海に於て特有性の弧線を譜くに當てや其線と其速度と兩ながら一定せず爲に失敗を招く事一再ならず加ふるに其經常費不十分の爲め有事の時活躍する能はず年々數百萬の財產は所謂天災の名の下に我帝國を奪去せらる三箇の氣象臺長の技倆は姑く是れを舍き其失敗を招き人命財產を喪失せしむるは同一なりと雖香港東京は官立なり經費の如き豊かならしめんとせば能はざるに非ず本邦の如きに至りては同一政府の事業たる電報にして氣象電報に料金を課せり其愚寧ろ驚くに堪へたり（今後は知らず）唯上海天主敎僧侶の氣象臺は私立にして素より經費を豊ならしめんとするも能はず此進路の弧線の弧圈の大なるとは豫知し易しと雖も小にして直ちに來路と九十度の角をなし反轉し疾走する如きに至ては殆んど知り難し而もその弧圈の小にして反轉をなすは多く薩南諸島より先島列島の間の兩側を普通とし反轉せば必らず北東方向を取り本邦を襲擊するや必定なりとす八月初めより九月末に至る間は危險時季にして稻花正に開くの候年の豐凶に關し至大の得喪を帝國に與ふ豈忽諸に付す可けんや（未完）（大連にて）

家庭博覽會

雲養 金允植

古者、化民成俗、始於家庭之治而達于邦國、記曰不出家而成敎於國、此之謂也、夫孝友睦婣、家庭之本也、日用執務、家庭之具也、但知本而不治其具則百度廢弛、家道日衰、妻孥咨嗟、僮僕咸戚、豈不大可閔乎哉、朝鮮家庭之規、素嚴內外之別、女子六七歲、不出門外、雖同巷隔墻而居、無相從之風、日用百物、不改舊習之陋、聞見既錮、日就卑劣、無一點長進之望、國瘁民貧、未嘗不由於此也、是以總督閣下施政之初、尤注意於家庭之治、於中外、設女子學校、於中央、設授產場、聘良師以敎育之、勤勉執務、夜以繼日、五年之間、大有成績、今當施政五年紀念之日、設共進博覽會于景福宮內、百貨雲委、萬品山積、一任縱觀、使耳目一新、心智開發、充然各有所得、此朝鮮初有之盛擧也、惟吾二三社員、淑爲發起、別設家庭博覽會一區、凡紡績縫袵之物、酒醬五飯之屬、生產養育之方、圖畫剪綵之術、無不畢備、粲然具列、此皆家庭中重要事務也、使遠近女子之來觀者、一覽明曉、恍然覺悟、捨舊圖新、相視爲善、業精而物豐、家道日肥、豈非富民富國之要道乎、此莫非我總督閣下、仰體聖上一視之仁、俯察人民風俗之宜、獎勵改良、爲四方之模範、推若社員、亦有贊成之義務、敢不勉之哉、昔在新羅時代、部人女子、以績麻爲業、王女二人、分率部在六部、督勵紡績、每於八月十五日、六部女子、咸聚闕庭各呈所績之麻、其優者有賞、劣者有罰乃盛陳歌舞百戲、與民同樂、海東樂府所謂會蘇曲是也、當是時、女有競勸之風、人懷向上之誠、家庭湛樂、民財殷阜、不圖二千載之後、復覩昔日之盛事、豈不美哉、豈不休哉

日報歌壇

露草選

□悲しみ
夜を流すめしひの笛の悲しくて故なき涙ほゝに流るゝ
フツと見しかの人の目のうるほひが胸のいたでにひとく悲しき
龜山 川島 清

□心
ことはに解け得ざるべし謎のごと君の心とこの我心
何げなく古本くれば一匹の銀色の蟲潰れて居たり

□かもめ集
果物の皮はなきが如くにも生命を滿すゝべきものか
奉天 醉方砂丘愁

日報俳壇

雉子郎選

立秋
秋立てる浪とは知らず水夫哉　橙黃子
街並木秋立つと見る皆ポプラ　同
城外に住むに秋立つ溜水哉　同
秋立つ住み馴れて大氣燥く國　同

殘暑
笠深く冠ぶる鹽賣秋暑し　容堂
船を灸る籾の篝火や秋暑し　同
沖の鳴る雨後の殘暑や荷揚船　韮城

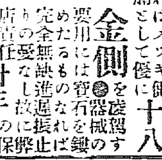
夜長
胡麻を炒る音の聞ゆる夜長哉　廿村
的もなく生きゆく我身夜長哉　同
眼冴えて思索熟せり夜長の灯　山民

夜寒
灯とゞかぬ床に花ある夜寒哉　橙黃子
夫に秘す心夜寒の灯に縫へり　同
裏戶口河の聞ゆる夜寒かな　同
夜寒さの古き疊や額高し　義明

廣告

仁川水族館今廿日ニ限リ午後三時閉場ス
夜間開場ハ普通ノ通リ午後六時ヨリ
右廣告候也
大正四年九月二十日
仁川協贊會

金側代用懷中時計 景品付 御大典記念割引發賣
本品は最新流行極薄形兩蓋細密斜子刻み中蓋付三枚蓋龍頭卷引出針廻し器械最新式寶石入16 17形紳士用 ◎乙 四圓七十錢 甲五圓五十錢
本時計は瑞西時計會社が多年の研究を重ね特に製造したる十八金色アルミ金側なればメッキ側と異り金色燦爛として優に十八金側を凌ぐ
器械の要用には容石を充たるもの完全無缺なれば狂進遲速の心配なし故に弊店責任を以て卅年の保險を附す
希望の方はハガキにて注文次第景品記念メタル表面に淸凉殿裏面に三種の神器を美術的に彫刻し十八金色に調製し流行鎖添へ代金引換小包にて送る
送料四十錢 萬一不向の時は無割引他品と交換又は返金す
大阪南區高津入番町 江上時計店 振替大阪一八六四五番



營業開始

內外理髮器具化粧品
大阪市南區安堂寺橋通一丁目
日本理髮器具株式會社
電話 南一六五六番 振替口座大阪四四三四番
支店 東京市淺草橋北詰 振替口座東京二七五三一番

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

新刊書御案內

書名	著者	定價
最近の支那と滿鮮	板本正幸	一、二〇
藝者美學	藤澤衛彥	一、〇〇
現代と道德	吉田靜致	一、五〇
日蓮大士言行錄	足立栗園	一、三〇
家庭の衛生	村井弦齋	一、二〇
美容術	樋口、三木	一、六五
栗山大膳	福本日南	一、六〇
薩摩義士錄	小西東司	一、〇〇
圍碁定石講話	鈴木爲次郎	一、五〇
禪學辭典	神保安德	特三、〇〇
龍口法難論	田中智學	一、三〇
詩集沙羅の木	林太郎	一、〇〇
たのもしき婦人	海上龍子	一、六〇
謠ひ様二百十番	齋藤秀之助	一、八〇
世界手鑑	伊東祐穀	特二、二〇
田沼及傷	酔田伯山	一、四五
人性の科學的研究	松の與人	一、九五
尋常小學唱歌教授綱目	背柳善吾	一、八〇
朝鮮語新會話	西村眞太郎	特、七〇
公文用字例	江原善槌	特、八〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三番

活動寫眞 高等演藝 有樂館
本町一丁目三越吳服店前 電話二六六番
今廿日午後六時より開館仕候
■フヰルムは最も嶄新優秀
■辯士は東京一流揃出演
■設備は館內特等、一等二等各等共高尙

寫眞材料藥品製造直輸入販賣
大阪市心齋橋筋 上田寫眞機店 京城支店 (電話五四九番 振替三〇九五番)
京城南大門通三丁目
教育、營業、娛樂學術用各式
一圓より數百圓まで各種
新古交換古物買入

◎新學期開始 △僅一年にて建築の奥儀を極む講師は斯界の大家
短期速成 建築科講義錄
見本付規則書申込次第進呈 △此際の入會者に種々特典有
◎會員大募集 △會費は低廉比なし講義は平易明瞭にて實用的也
東京麴町飯田町 帝國工業教育會

健康を欲せらるゝ諸君の忠實なる同伴者として今や天下の同情と人氣を確實に獨占したるものなり
蜂印香竄葡萄酒は
▼每朝の一杯は ■精神を爽快にし ■元氣を旺盛にす
▼每晚の一杯は ■疲勞を癒し ■睡眠を能す
內外各國の金銀賞牌廿四個受領

東京日本橋 近藤利兵衛

列強大戰

▲露獨激戰

ヴキルナの戰鬪は今やその極點に達しマイチヤゴフ（ヴキルナの北方十二哩）西南に於いて獨軍は露軍の陣地を猛烈に攻擊したり又獨軍は强襲によりノボビライシユ、モロデツエー（ヴキルナ、ミンスクの間にあり）鐵道に到着せり、此の地方及びその北方モサイル、ナロシユスパー湖の方面に於いて强力なる騎兵隊の衝突ありビンスリー西方に於いても戰鬪開始され露軍はデラジー附近の村落を强襲して二千の捕虜を得たりウイシニネヴエッ及びストリパの戰鬪は露軍の勝利に歸し百名の捕虜を得たり（露都發）

▲八百萬兵
露國新召集

露都來報に曰く、露國議會は十一月中旬まで休會することゝなりたるが露國皇帝は勅令を以て三十五歲以下の地方豫備隊の一部を召集せられたるが此れに依り新たに八百萬人の壯丁を得るに至る可し（倫敦發）

▲佛軍の防備破壞

巴里公報に曰く、全線に亘り猛烈なる砲擊行はれ佛軍砲兵は引續き敵の防備破壞を行ひ効を奏せり、アングレ、スーシエースヴイユ地方の坑道作業中に擲彈戰行はれ佛軍はロアチホーフ塹壕の間に於いて小銃射擊を以て敵を阻止したり（倫敦電報）

▲英國新戰費案
ア首相の說明
露兵狀況に及び||露軍の勇氣を稱揚す||

英國首相アスキス氏は下院に新戰費支出案を提出して曰はく或る必要なる運動の支出費中に二三の臨時特別項目あれど今日之れを發表するは一般の利益にあらず但し其一部は數箇月にして償還さる可く其他は將來の費途に充てらる可し、目下日々の戰費は平均三百五十萬磅を超過せず、尙聯合國に對する貸附額及び陸軍軍需品膨脹費の漸次增加し來れるは一般の傾向なれど將來一週間の平均戰費概算は三千五百萬磅を超過すること無かる可し、今回要求の支出額は來る十一月第三週日までの戰費にして今年度の總費用は今日までに五億磅外國政府貸出額三千萬磅、自治領土貸出額二千八百萬磅なり、而して開戰以來三百萬近くの義勇兵陸海軍に入り目下も應募兵數は相當に維持せらる、尤も二三週間以前より應募兵數減少せるは遺憾なりと、次に首相は目下の形勢を概說したる後露軍の勇氣を稱揚し今日の戰爭は機械、組織、忍耐の戰爭なり、武器其物が最良にして軍隊が最も永く戰爭に堪へ得れば勝利は必ず吾人に歸せん、之れ吾人の爲さんと欲する處なりと結びて大喝采を博せり（敦倫電報）

○英徵兵制

デーリーニユースは述べて曰く頗る重大なる政事上の危機迫り來れり即ち徵兵制採用に贊成せる五六の大臣等は內閣をして其政策に一致せしむる能はざる爲め近々辭職の意あり之れ國民登錄案の下に行はる可き新募兵運動の實施されざる以前に徵兵問題に關し總選擧を强んが爲也（倫敦）

○皇儲御撮影

皇太子殿下には十九日午前七時三十分御出門入江侍從長御陪乘御參內天皇陛下に御對面の後豫て御眞影撮影所として新築の紅葉山寫眞所に成らせられ御更衣室にて陸軍步兵中尉並に海軍中尉の盛裝に交々御召替の上小川、丸木兩寫眞師に依り兩樣の御撮影を遊ばされ御歸還あらせられたり右御寫眞謹製の上は皇族方を始め親戚任官御學問所職員其他に下賜の御沙汰あるべしと承はる（東京特電）

○大學令案と文相

新大學令案に付き高田文相は語って曰く新大學令案に對する條文編成は十八日を以て大體終了したるが大學は人格を陶冶し社會の指導者たる者を養成するを目的とすといふ條項は所謂リベラル、エヂユケーションに重きを置きたり又大學に研究科を必要條件とし學位條件を當該大學の教授會に一任したるは一木前文相も余と同一意見にして一般教育家の輿論も之れに傾けるを認めたればなり尙ほ年限短縮の意味より帝大豫科の處分につき之れに手を下さゞるを非難する者あるも大學令に處分の條項を入るゝ必要なきのみならず本問題と自ら性質を異にせるを以て本案が勅令となり發布せられたる後徐ろに着手するを順序とす可く專門學校令は本案通過後に於て教育調査會に諮問する考へなり（東京特電）

○工女衞生取締

目下農商務省に開會中の工場主任官會議の結果東京、大阪、神戶、愛知、長野、石川、福岡の二府五縣に工場課を新設し專門技師及び醫師を置きて工女衞生に關する總ての監督取締をなす由（東京特電）

○兩公使橫濱著

新任本邦駐劄西班牙公使カーロー氏並に新任駐劄伯剌西爾公使チアーモント氏は何れも夫人同伴二十日午後五時春洋丸にて橫濱著任の筈（東京特電）

○移牧俘虜通過

福岡より名古屋に轉收さるゝ獨逸俘虜百二十四名は十九日朝關門を通過し同地に向ひたり（門司特電）

●共進會場の名和提督
颯爽たる雄姿=會塲の異彩=諸將皆驚く

共進會を視して十八日仁川に入港したる第二艦隊名和中將麾下の將校下士六十餘名は十九日朝入京旅館を天眞樓、巴城館、浦屋等に定めたる上寺內總督を其官邸に訪うて入京の挨拶を爲し、夫より一同馬車、腕車に分乘して共進會見物に赴く、共進會にては慶會樓上に於て協贊會より後餐の饗を受け午後二時より演藝館に藝妓の舞踊を觀る、協贊會にては特に番組を變更して日本藝妓の『つひのよるべ』に妓生の舞踊一番を加へたるが一行の滿足此上もなく見受けられたり

▼驚いた感心の連發　演藝館を出たる長官の一行は共進會の出品物を觀覽す可く先づ第一號館に入る、兩側の陳列棚に整然と列べられた農產品は一々詳細に觀覽したが普通の觀覽者とは反對に統計表などを熱心に見て居た林業の部に入つて提督は朝鮮は禿山が多く材木に乏しいと聞けども此樣に見事な良材が得らるゝとは驚いたと提督は先づ感心の第一聲を發つ鑛業部では安川鑛山の模型を見て『朝鮮は如斯豐富なる鑛脈を有して居るのだから前途頗る有望と云はねばならね』とこゝでも感心工業傳習所出品物は全部朝鮮人の手に成りし製作品なりと說明を聞き一行を顧みて贊辭を連發して居た

▼恩賜事業を注視す　番勢館では各道施設經營の成績一班を集めたる模型品の出品多く殊に平安南道の出品にかゝる鎭南浦港の模型に對しては素人目に見るのとは違つて長官始め連る各將校の眼玉が異樣の光を放つて居た名和提督は朝鮮人の食ふと云ふ食用草本の前に立ち『一號館などで見た農產物の發達進步に引比べて今も尙ほ僻陬の地方では此樣なものを食つて生て居るとは實に驚くの外はないね』と今更ながら驚きの目を瞬るそして長官は何れの陳列品の前に行つても恩賜とか救濟とかの文字ある陳列棚の前に立つては暫時步を止めて注視して居る樣であつた

▼教育の普及に驚く　二號館第八部の教育品は特に寺內總督と令息の注意もありたれば充分なる研究を爲したしとて出張中の大塚視學が說明の勞を取る『成る程併合前から較て見ると書堂だの鄉校だのと云て居た時とは大變な進步を來したものであるそして單に教育の力で以て教へらるゝと云ふ計りでなく自發的に各種の製作品を作る樣になつて來たのは洵に喜しいことだ、就中此樣に實科教育が普及して朝鮮人の民度に適合したる必要品を製作し教育の實績を擧げて行きつゝあるのは慶す可きである猶ほも大塚視學が熱心なる說明に提督は只もう唯々諾々『感心々々』を連發する

▼御職掌柄な此一言　朝鮮人に國語を敎ふることは內地の中學校で英語を敎ゆる樣なものだと聞き『朝鮮人と國語!!由々しき大問題である、國語力の發達如何は大に教育の消長如何に關するものであるからして、日本語の敎授もそれ位にやらなければなるまい』第九部の土木交通は御職掌柄仲々關係淺からず從つて提督一行も熱心に之れを視察する森總督附武官自ら說明の役に當れば提督は『仁川築港の竣工後には四千噸級からの巨船が港內に橫著になるのであるから仁川港の利便は云ふ迄もないが併し漢江の下流から流入する土沙の防禦は如何な具合になつて居るのだらうか……經費の關係もあらうかも知らぬがあれは是非防禦法を講じて置かねと懸念に耐へぬものがある』

▼武將の經濟的著眼　其他交通の部に陳列したる二百點に近い出品物には一通り一瞥しつゝ第十部の經濟の部に於ては說明者を顧み一々朝鮮人の生活狀態又は金融機關の成績に就て問を發して居たユスチチアの女神立てる司獄の部では朝鮮囚人の手に成た製作品を見て『朝鮮人でこんな立派な手を持ち作ら罪人となるなどゝは世は態々だね』と感慨の深きものゝ如く瞬く時間の切迫に餘儀なくせられ一同を促して退場總督府差廻しの馬車三臺に分乘して旅館を差して引揚げた、折しも傾く夕陽は諧謔の胸を照して燦然、斯くて十九日の共進會場は是等の人々を以て一日を賑したのであつた

●貴族團と林業

朝鮮貴族連の共同經營に係る朝鮮林業組員普植園は十八日午後一時より黃金町貴族會館に於て通常總會を開く出席者は李完用伯、李載覺侯、尹德榮子、李允用、金春熙兩男其他十數名にして事務幹事韓昌洙男より事業報告あり後定款の改正を附議し李王職代表者林會計課長より同園の經營方法に付希望を述べ同五時散會したるが元來同園は前山林課長齋藤音作氏慫慂の下に創始せる者にして重なる朝鮮貴族は概ね加入し資本金十萬圓にして先般李王家は五百株、李埈公百株李堈公五十株の引受あり總督府援護の下に朝鮮に於ける模範造林を經營し林業發展の促進に資せんとする者にて元石川縣技師遠藤安太郎を技師長とし差當り一萬五千町步の植林を爲す豫定なり尙同事務所は當分の間東大門外淸凉里に在りたるが事業の進捗と共に種々不便を感ずる爲め今回貴族會館の一部を以て其事務所に充つる由

●京畿秋蠶成績

京畿道管內に於ける本年度秋蠶の發育は掃立以來氣候概ね適順ならず飼養上非常の困難を感じたるに不拘れも良好なる經過を遂げたり而して之が飼養戶數四千十三戶種紙掃立枚數五千二百六十二枚收繭豫想高九百七十五石にして之を昨年度に對比する時は飼養戶數に於て千二百八十六戶收繭高に於て二百四十六石の增加なり

●客月仁川移入

仁川八月中の輸移入は八十一萬四千十五圓にして前月の八十四萬千五百十七圓に比較すれば二萬七千五百二圓の減少を呈せり是れ麥粉、生金巾、綿布等の時季物多少增加せしも原鹽、砂糖、酒類、支那麻布及び石炭の減少によるものなり而して前年同期の百萬二千六十九圓に比すれば十八萬八千五百五十四圓の減少を呈せり

●精米組合設立

仁川精米業者間には從來激烈なる競爭行はれ爲めに同業者双互間の蒙る不利不便少からざりしが今回同業者奧田、力武、庄野、三井、不二、加來、天日、園田の九精米所爰に鑑みる處あり同業組合を組織し相互の利益增進を圖り且從來の弊習を一掃するに決し十五日午前四時より穀物協會樓上に第一總會を開會し役員の選擧を行ひ規約を議定したる上午後七時より鱗樓に於て懇親會を催したり因に組合長には奧田貞次郞氏滿場一致を以て當選したり猶組合事務は幹事三名にて鞅掌する由

●群山前月經濟
朝鮮銀行群山出張所調

七月以來何等資金の需要を喚起すべき材料に乏しく金融は益々緩慢の度を進め夏枯閑散を見送りつゝありしが八月始め米界は作柄豫想悲觀說の聲を高め內地期米は勢ひ猛烈に躍進し前途頗る好勢の氣配ありしを以て市況沸騰に伴れ多少資金の移動を生じたるも何分にも在米の減少と當地方稻田の水不足の爲め農家は旱魃を氣遣ひ殘存米出し澁りの狀態にて目覺しき活動を見るに至らず月央に至り適度の潤雨を見大に作柄を持直すに及び一般に愁眉を開きたるが漸次相場も反動的低落し輸移出注文不振にて小口當用品に對する荷動きのみなれば格別市況を振起せしむるに足らず依然として緩漫の域を脫却する能はざりき然れども輸移入側は眼先き朝鮮盆を控へたる事とて追々時日の接近するに連れ金巾類を主として砂糖等の如き必要品の賣行稍活潑を促し之が仕入決濟資金の需要漸く增加を來たし此の方面金融は小緊を呈し越月せり金利は大體に於て變りなく同業者は弱含みなるも貸金業者は强硬なるものゝ如く改良玄米は八月初めの相場は九圓一二十錢見當にして期米の奔騰に伴れ高潮一圓四五十錢方昂上したるも內地天候の順調は間も無く弱氣の壓迫を受け棒下げの有樣にて八月末相場は十圓弱を保合へり例年端境期に際し出穀見るべきものなく露米も廻著薄く在米減少と共に精白米は增加せり金巾類は七月來市況不振にて甚だしく低落を受けたるが內地輸出の復活により三四圓方引戾し砂糖も引續き好調を維持し時節柄朝鮮人向日用品は需要增加賣行敏活を呈せり商況は漸く活氣の色を現はせしが如く漸次繁忙を見るに至れり（群山）

●仁川穀物賣買高
昨年より十五萬石增

八月中に於ける仁川穀物協會の取扱ひに係る穀物賣買數量は籾一千六百七十五石五斗一升七合玄米一萬七千五百十九石八斗九升二合白米十一石八斗八升大豆四百六十四石六斗五升六合小麥百二十五石一斗六升二合計一萬六千七百九十七石一斗〇七合にして之れを前年同月の賣買合計一萬六千餘石に比すれば三千餘石の增を

●仁川八月肥料

仁川八月中肥料輸移出は九千七百十八圓にして前月は四千百二十三圓前年同月は一萬四千六百六十六圓前月に比し五千五百九十五圓の增加を來せるは例年の如く秋氣肥料の需要口に仕向けらるゝものにして當然の事と云ふ可し前年同月に比し四千九百四十八圓の減少せるは精米所の精搗手控の爲め本品の生產減退せると尙ほ米價安値にて內地の本品に對する需要減少せるによるものにして且又相場の約三分の一に下落せるを以て金額は著しく減退せしも數量に於ては大差なきもの如し相場は上等物百斤三十三錢より下物九錢處なり

●乘組將校歡迎

仁川水族館にては二十日午後四時より第二艦隊乘組將校歡迎會を同館樓上に於て開催する由にて同日は午後三時一般觀覽を謝絕し六時より夜間開館をなすべしと

●總長邸追悼式

立花總長嚴父の葬式は廿日午後三時東京青山齋場に於て執行さるべきにつき京城憲兵隊、司令部及び警務總監部並に所屬憲兵隊、警察署の高等官及び判任官總代は廿日午後三時總長官邸に參集追悼式を執行す

人事消息

▲フエリツプス孃▲ライス孃（各英國人）十九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲大澤富二三氏（東亞煙草盛州主任）同上
▲山本旅館へ
▲櫻井松太郎氏（大阪每日販賣主任）同上
▲小栗直臣氏（龍原憲兵隊長）同上
▲河口門肋氏（山口縣技師）同上

鐵道大競爭

北廻選手（十九日午後亞米利加丸にて渡滿す）

南廻選手（本日臺灣へ渡航中電信）

北まはり

門司港頭記念撮影
神崎憲一

十九日支局長の案內で市役所を訪問し轉じて門司新報に行けば上田外交部長記者團出迎への爲に來れるに會ふ其れから馬關每日を經て關門日々を訪へば記念の爲とあつて此のしやつ面を撮影し、其の上首途を祝ふと中食を受け郵船、商船を歷訪して午後二時半亞米利加丸に乘船、丁支局長、加藤郵船、佐治商船、山室關門日々其他諸君の見送りを受け愈々臺灣に向ふ（十九日午後二時門司發電）

□萬歲の聲海を壓す　神崎北行選手十九日午前唐津より歸門午後亞米利加丸にて渡臺の途に就く官民の重なるもの埠頭に見送る萬歲の聲海を壓す（十九日午後四時門司支局發）

●仁川八月米況

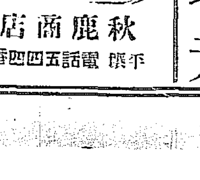
[illegible]ち大口の分のみなりしに月初め米價は益々不引合の立場に陷り[illegible]米の內地需要增加に因るものなり[illegible]五十錢見當なりしも內地は一時作柄[illegible]越月せり米界の厄日も日曜の間に迫もありて[illegible]

▲精鵜大に手控へ [illegible]四十錢にて越月せり粉米八月中輸移[illegible]在庫高は玄米五萬三千五百七叺糯三千百二十七叺[illegible]

外勤社員五名招聘　熱誠なる奮闘家を要す　志望者は履歷書送れ、面談日追て通知す　京城黃金町二丁目　有隣生命保險株式會社朝鮮支部

空前絕後　闘牛　特等 金參拾錢　上等 金貳拾錢　並等 金拾錢
御待兼の慶尙南道晉州の名物たる勇壯奇拔なる闘牛は愈々明十八日午後一時より左の處にて賑々敷興行致す事になりました如何に闘牛が活劇場裡に立ちて勇猛壯烈なるか御實見の上御批評の程願上升
京城明治町（東拓會社前空地）　闘牛興業元

平壤名產　ピンス子持栗　滋養豐富　風味佳良
弊店製品は共進會々場平安南道賣店に於て出張販賣致し居り候間是非御立寄り被下度休憩所の設備も有之候
平壤　秋鹿商店　電話五四四番



露西亞物產雜貨一式　歐米洋酒食料品　北鮮產石鍋石器類
元山府仲町　西澤商店　電話四六四番　振替京城二七四九

金庫　東京竹內製　ベンデング式
京城本町二丁目　熊平支店　電話六二四番・振替京城二二番

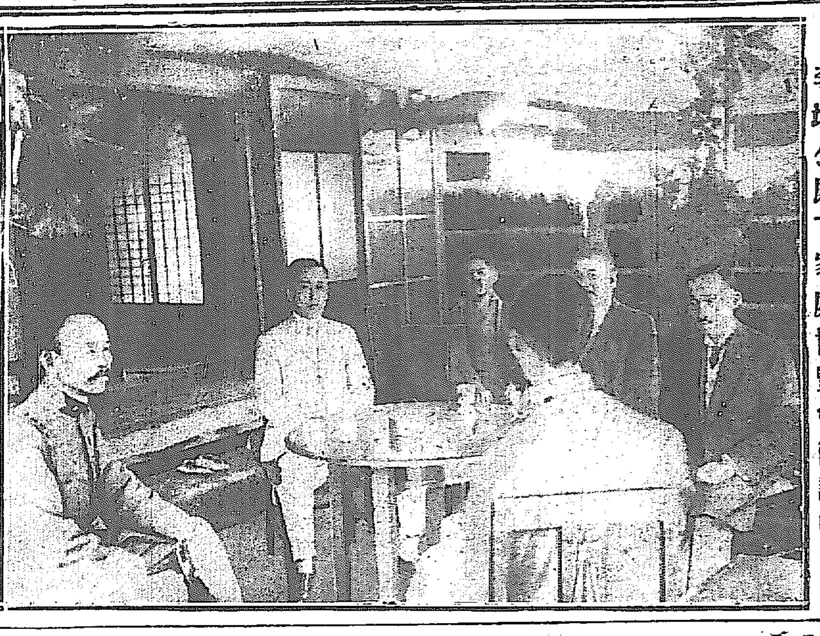
旅館開業
今般左記の處に開業家具、食具、寢具等を新調殊に客室の如き頗る閑靜にして叮嚀に取扱致す可く候間御來館の程願上候
京城南大門外南橫上　南大門旅館　電話一〇三二番

水族館の開催を祝して　會席御料理　御一人前 金五拾錢
仁川仲町三丁目　柳家　電話一二九番

五千九百圓前年[illegible]十二圓にして之れを前月に比し六萬四千八百九十五圓の減少を來せるが[illegible]近は與筋廻米も小口の分は既に賣放し割高となりたり輸移出に[illegible]合なるより思惑的賣買を試みるもの無く何れも委託品の積出に止り殊に[illegible]本年は米作豐收と精米所增設及び[illegible]じく相場安價の際なりし

▲內地積出の皆無

[illegible]七月限定期米の[illegible]初忠淸道改良米九圓[illegible]なりし[illegible]中旬は十圓十錢見當迄引返せしも[illegible]地は天候の好順に期米は不勢に連れ當地も軟化にて月末十圓見當にて[illegible]相場割高にて移出不引合に陷り各工[illegible]連れ中旬十三圓五十錢迄出來せしも[illegible]以て月末は十三圓[illegible]見當なりしも玄米の漸騰に[illegible]なり主なる仕向地は大阪四日市名古屋なり仁川穀物協會の月末在庫高及[illegible]て本月中の賣買は[illegible]調に依れば[illegible]



李堈公殿下家庭博覽會御訪問

家庭博覽會 李堈公殿下臨場

開會以來常に盛況を以て盛況に次ぎ內鮮諸名士の觀覽あり、好評を博しつゝある我社の家庭博覽會は十九日李堈公殿下來臨の光榮に浴した殿下は午後三時五十分趙御附武官、金、黑崎の兩事務官の隨員と共に自働車を驅つて來場、薄鼠色の背廣服に茶の中折帽を戴きいと瀟洒たる風姿を阿部社長の案內で第一號館より二號館と順次に觀て歩かれる殿々內地に御旅行あり日本の家庭の模樣を詳らかに御存じの殿下は殊の外興味を以て種々の御質問があり注意を拂つて御覽になりとりわけ新らしき人にも古き孝を敎へよのところ子供の食事の仕方、負ひ方抱き方などを熱心に觀られ休憩室で記念撮影をされたのち更に本社印刷工場に赴いて一時間一萬三千の刷出力を有する輪轉機並びに製版場、鑄造室などを深く意を留められ、記念のためとあつて鉛版の紙型を御土產に持ち還ると仰あり至極御滿足にて『いと催しである、大分よく出來た』などと繰返へされ四時半歸途に就かれたが館內の賣店クラブ本舖中山太陽堂、レート本舖平尾贊平より化粧品を獻上したる外レート、クラブ兩店、海市商會等は種々御買上の光榮を擔ふた

閔子爵夫人の驚嘆

家庭博覽會は三度も四度も觀なければなりません等七八名連れて來觀、一時間以上かゝつて觀て廻る、シンガーミシン會社のミシン機實習を觀てその巧緻にして敏速なのにすつかり感心して

記念のために閔の字を縫ひつけて貰ひたいと差出した手布には一分間もかゝらぬ內縫ひ附たのでいよく〜嘆驚する、何を見ても始めて見るものばかり、珍らしい〜で二時間近くかゝつて巡覽し終り休憩室で語る、『食事の仕方、子供の負ひ方は確に衛生的でいゝから早速改良する、朝鮮の內房は元來簞笥ばかり多くて戶棚押入といふものがないから不便だが日本の座敷といふものを見て始めて押入の便利調法である事を知つたからこれも早速應用す、日本の家庭は趣味のあるものだといふ事は常に聞いてゐたが生れて始めて觀た今日その誤りでないのを知つた何しろ今日一日ではよく會得出來ないから最う二三度來ます』と言つて賣店で種々の買物をして大滿足で歸つた

京城女子技藝學校生徒

打つゞく快晴に家庭博の人氣は湧くばかり、十八日は土曜日のせいか、二時頃からの入場非常に多く學校生徒の團體見物、名士の來觀もあつて大賑ひだつた、正午過ぎると間もなく井上校長に引率された京城女子技藝學校生徒が百名來たが恰度餘り混み合つてゐないときたつたので先生も生徒も丹念に各室を觀て歩いた、然うして運動場に來てからも『今日は悠りしてゆきますからもつと見たい方は御覽になつても宜しい』と先生に言はれて遊動木や滑べり山に乘つて騷ぐ一年生は別として三年生の人達は見直しに行く熱心、流石に實科に重きを置いて敎育されてる生徒だと思はせる、先生は生徒達が運動場で愉快さうに嬉戲するのを見て爰に四時間ばかり遊んで四時頃歸つた、小宮次官、中村檢事長、小城技師、外に三本營業課長などが來られた、外に李王職長官閔丙奭子爵夫人が氣高い姿を令息、令孫、侍女

師團長、海軍將校來觀

十九日の家庭博は日曜の上に上々天氣なので朝から大入、川村師團長が來られたのを第一番に陸軍の兵隊さん目下入京中の海軍の水兵連が續々入場した午後から協贊會に招待された海軍將校連が揃つて來た、常に艦に乘組み海上生活ばかり續けて來てゐる人達の事とて和氣靄々春風の吹き渡る樣な親しみのある家庭の有樣を見て『吾々の樣な船乘は斯いふものを見ると懷かしくなります』といふ蓋し僞りのない告白だらう、此の日書入れの餘興として高塔の上から飛ばす高杉醬油商會京城出張所の景品券付風船で一等(醬油一樽)十個外五等に至るまで五百個の風船は殆んど一分間位に飛ばされたが之れを拾はうと會場の附近を遠巻にして待構へた群集は塔を仰ぎ見ては揉み合つてゐた、團體見物には淸州觀光團外數組あり和田外科病院より夫婦家族も見えた

共進會 煙火見に出た人の山

日曜の夜は慶會樓畔押すな〜の賑ひ 慶會樓後の松林池に映じ繪の如し

十九日日曜日の共進會は非常な人出であつた、今日は共進會の各陳列館から京城協贊會の苦心を重ねた餘興場が全部整頓した第一日の日曜日のことゝて出た出た——會場は實に非常な人出であつた、午後二時頃からの餘興場は開館以來未曾有の賑ひを呈して各興行物は云ふにや及ぶ正午頃から午後の三時までの場內飲食店の混雜と云つたらない、殊に此日はどうしたものか鮮人團隊は珍らしく少なかつたが內地人側の觀覽者が頗る多く午後四時頃協贊會での話では二萬人を越して居ると云ふ盛況、官服厳めしい役員の今日は優しい和服姿に奧樣に子供衆と女中まで連れての見物が殊の外に多い樣に見受られたが夜に入つては又一段の賑ひ仕掛け煙花があると云ふので午後の七時からの入場者は光化門通を行列をなして押すな〜の盛況、光化門から鐵道館のイルミネーションは每夜の如く、眩ゆい許りに照り輝いた噴水の裝飾光の後に聳えた東拓館は光の餘りに掩はれて埋もれる許りの觀客を收れて居る演藝館の活動寫眞は妓生の日本唄を呼物に相も不變滿場立錐の餘地もない賑ひ、娘曲馬から不思議館動物園も大入、慶會樓に出ると今夜の呼物、場內三河屋の煙火は午後四時から水禽の喜々として戲れる慶會樓の池邊に打揚られる、夜に入つては煙花の數も彌々多く間斷なく連發される、時に弦も稍々太とり初めた十一日の月は淸く照り輝いて慶會樓後の松林から池に映ずる樣は宛然繪の如く、夜の九時ともなれば協贊會大奮發の仕掛け煙花は慶會樓の池畔から祝砲、登り彩星、後の花園など見事なのが揚がる、陸の煙火が終ると水中の仕掛煙火は金魚が十發、後に共金魚が色々に變色すると云ふ仕掛、無數の見物は『アア美しい事』と感歎の聲を放つのみで宛ら今日の夜の樂園の遊びに醉つた樣に只もうたあいもない斯くして樂しい日曜の一日は午後十一時に終つた

不正獨逸人 青島より內地へ 續々檢擧護送さる

過般軍事通信の嫌疑にて檢擧されたる青島獨逸人二十八名十八日午後鹽濟丸にて三木中尉以下十四名に引率され門司著直ちに大阪に向へり中尉の談に檢擧されたるものは素と四十二名なりしも保釋其の他に依り減員せり而して其の多くは商人にて德華銀行支配人もあり青島殘留獨逸男子は最早二三十名に過ぎず(門司特電)

(五)大好きな運動場 太郎さん記

四號館を見て五號館に這入るとき僕は大分疲れてゐた、僕は唯自分の家と比較する位より外に頭も使つて見なかつたけれども、お母樣や姉樣が餘り綴り一々馬鹿叮嚀に觀て廻るので僕は[illegible]か足が[illegible]くなつた、遠足に行つて早脚で歩くのなら些しやそつと歩いたつてビクともする僕ではないが牛が歩む樣にのそりのそりとやられるのが一ばん閉口だ。ところが僕は五號館に這入つて漸くホツト息をついた、此の室の光線の工合が落着いた感じを起させる樣に出來てゐるせいでもあらうが此處の

□背景が大へんよく出來てゐて一見爽快な心持が自然に湧いて來て心機を一轉させるからだらう『子供の食事の仕方といふのは窓に腰掛けていゝ姿勢で喰べてゐる方がいゝ喰べ方で俯向いて頭を茶碗の中に突込む樣にして喰べてゐる方が惡い喰べ方だ

「僕も蹦つたら椅子に腰掛けて喰べよう」って言つたら『日本座敷で膳部で喰べるものがありますか、此の喰べ方に詰まり此の位の姿勢で喰べなければ可けないといふ事を示したので決して此の通りにせよといふのではありません』とお母樣が仰れる、成程然うもいへばさうかも知れない。

□子供の負ひ方抱き方にも善い惡いがあつて負ひ方もねんねこで首頭まで埋めるのが惡いので

□身體を高く上げてねんねこなしで脊負ふのが好い負ひ方

抱き方は子供の胸を自分の胸に接觸さしたのはよくない成るべく離して抱くのがいゝ抱き方ださうだ。東京に居るとき神奈川から出て來たての女中が僕を『ボンチヤン〜』ていつて可愛がつて一日負つたり抱いたりしてゐたといふ。隨分亂暴な事をしたらうと思ふ。善い著方惡い著方といふのは寒中でも成るべく手足、頸筋などの皮膚は露出して襟卷などするのは惡い著方だ、襟卷、手袋の嫌ひな僕は是まで善い着方ばかりして來たご姉樣に威張つてやつた。

貯藏室の瀑布の仕方はお母樣が熱心に觀ていらしつた。これで全部の見物が濟んだ姉樣に時間を訊いたら小さい時計を出して『最う十一時よ、一時半かゝつた』と言つた、そこで運動場へ出てカチカチ山から滑つたり遊動圓木に乘つたり、デンデン太鼓を鳴らしたり、お茶を呑んだりしてゐたら午砲が鳴つたので腹が減つた樣な氣がした、僕の見物も之れでお終ひである。

第二艦隊水兵の共進會見物

大熊數名を傷く

去る八日咸南新興郡加平面中陽里の鮮人部落附近に大熊一頭現はれ折柄草刈りに從事し居りし鮮人五名に飛び掛りて重輕傷を負はせ更に中里に隣接せる中上里に到り鮮人一名を傷け荒れ廻り居る處へ急報に接し元平場憲兵派遣所より數名の憲兵が出張し多數の里民と力を協せて中上里北方の山麓にて大熊を遠巻きに包圍し短銃にて射擊し十四發目にて首尾よく射殺したるが熊は體量四十五貫餘の逸物なりと(元山)

◎大阪每日新聞 巡回記者講演

九月二十日午後二時より南山本願寺別院に於て開催し左の講演あり

婦人と子供に關する講演 大阪每日新聞記者 稿話せみ郎
文藝に關する講演 大阪每日新聞社副主幹 菊池幽芳
醫術及生理に關する講演 醫學博士 木下東作

尙餘興として吉備謌樂を各講演の中間に於て左の順序にて演奏す

▲君が代(少女五人舞)演奏者尾原音人、山本正三外數名 ▲作樂謌(兒島高德)同上 ▲櫻井の曲(父子訣別)同上

且つ二十一、二十二、二十三日間午後一時より櫻井町大正館に於て左の活動寫眞あり

△大阪名所△本社主催第二回海上十哩競泳△所澤陸軍飛行實況△宇治川水馬競爭△義勇の少年(喜劇正劇)△天の罪(教訓劇)△滑稽トン君鉋の卷△大阪每日新聞印刷狀況△製紙實況△獨逸ツエッペリン式飛行船巴里を訪問飛行△征獨鼻軍の出發△美しき同情(教訓劇)△ライオンの復讐(教訓劇)△姉と妹(教訓劇)△公園の寵人(滑稽劇)巳が罪(菊池幽芳作正劇)

□本日の演藝館

▲晝之部

今二十日の共進會協贊會演藝館の晝の出番は京城券番と妓生の舞踊は茶洞妓生組合の出番にて出物及び出演藝妓は左の如し

▲京城券番

▲御代榮踊 花奴、貞彌、喜樂、梅子、百千代、玉蝶、奴、梅子、若蝶、若蝶、光枝、春蝶、春次、若奴、千代菜、國香

▲つひのなるべ(踊)○の、小姫、玉子、小政

▲地方 若春、政榮、國の助、梅香、たま、十九ロよし子、小園、百吉、長吉、靜奴、一子、勝丸、秀丸、智惠子、ツボミ、玉吉

▲茶洞妓生組合

▲撲蝶舞 沈香春、李蘭香、劍笑舞

▲踊子 金明玉、李眞紅、朱鶴仙、李蘭香、金錦蓮、金錦姬、白雲仙、張眞珠、李珊瑚珠、趙紅梅、金柳色、中錦姬、嚴山月、李快月、尹弄月、金英姬

▲夜之部

▲活動寫眞 重なる撮影は左の如し

△エクレール△大きな炬燵△シモンノ留守番△サルシオ子島△學問好きな探明せる盜神△佛國民軍事探偵

◎乘馬會員遠乘 京城乘馬

會員白井武官、小松翰長を始め十三名は十九日午前八時轡を列ねて京城出發纛島に遠乘を試み東拓出張所にて午餐を採り午後三時歸京せり

えんげい

▲御成座○○○ 二十日夜の替り藝題は明治廢賊ピストル強盜全九場と喜劇お玉ケ池全二場なりと

▲佐久良座○○○ 市川新昇服笑の大阪俄俳優一座の今夜の替り狂言は難波戰記にして前及び切狂言は一座十八番のものを出す由

▲京山若丸來○○○○ 新派浪花節京山若丸は愈々今二十日より浪花節に出演する筈初日の讀物は乃木大將外一席なりと

▲有樂館の開館式○○○○○ 同館は十九日開館式を擧行し午後五時より京城官民の重なるもの一千二百餘名を招待し餘興には活動寫眞、天洋一石の奇術等あり頗る盛會なりし

京日案內

◎番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回毎に金五拾錢增

名刺 標本共進會印刷寫眞館へ出陳致候 太平堂名刺舖 京城壽座前 電話二七一二番振替一三六七番 578

◎夜警員數名採用す 希望者は履歷書携帶本人來談 ◎小僧數名入用 小學校卒業者にて十六歲以下の者 希望者本人來談 太平通四ツ角 廣江商會 579

店員入用 十七八歲より廿歲迄の店員二名至急雇入たし保證人を要す 仁川宮町 澁川エハガキ店 575

鑛物各種分析 京城太平町二丁目三四四番地 坂元分析所 577

▲花柳病專門藥房 詳細は本月四日の京城日報を御覽 京城南大門外ドラック商會 電話二五六七(振替四六七) 562

◎調理師は斯界の覇王 優良料理開業が好くて懇切尙婚禮茶方精進其他宴會の料理師として皆樣の御招きに應ず 新町 江戶吉 570

皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番

◎裁縫主として實用的を教授す 御希望に依り生田流琴曲、池坊生花何れも隨意親切に教授す 若草町廿六番ポスト入 森裁縫所 537

支部及特約店募集 專門賣藥四十方劑希望者は郵券五錢送れ規則書郵送す 京城府漢江通十六番地 帝國博愛舘 421

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 425

マラリヤ特効藥 金鷄丸 各藥店にあり 定價三十錢 發行所京城旭町一ノ二三 淺野藥天堂 440

賣地 京城南大門通商家屋の敷地凡そ廿九坪望の御方は御來談を乞ふ 黃金町壹丁目 電話一〇一五 喜多金光堂 447

◎はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 452

古本は野村に限る 買入誠實御報參上(電二六三六番) 京城本町一丁目明治町下る 野村書店 457

武術刀劒柔道衣 文武官用刀一般製作修理古刀買賣 京城明治町一 電取次四二七一 堀兼刀劒店 504

◎古着古道具類一般 右は相當價格を以て確實に買受候 旭町一ノ卅一 電話一八二二 クヅ谷商店 509

◎共進會記念寫眞集合撮影 迅速調製 定價卅錢 本町二丁目門鋸寫眞 總督府御用 浦尾旅館前 金田寫眞舘 529

◎入齒 技術誠確 期中特別割引仕候 京城本町三丁目商業銀行支店入 永井 530

◎土產品は翡翠に限る 明治町二丁目村井商會取次 朝鮮名產 高麗豆元 五九一番 櫻井町二丁目村井商會取次 珍菓新羅豆祖 電話二三六八番 544

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

◎貸家 日本建溫突付三室至極閑靜 官吏向 漢陽公園南裏 管理者 南龍山印刷局先畑中 507

◎造花 裝飾記章調製御用達 各種原料廉價販賣可仕候 京城南大門通五ノ一二九 青沼忠榮商店 576

◎外交員入用 年齡廿五歲以上卅五歲迄確實の保證人ある者 京城本町二丁目 光田洋服店 572

雜貨洋服 仁川本町 京阪洋行 品目 メリヤス類 [illegible]

醬油 最上 金銀賞牌受領セシ 男香風味天下一品 平壤 宮川釀造

醇良清酒 仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

父碩儀豫て病氣の處本日午前一時死去致候に付此段謹告仕候
追て明二十日東京府豐多摩郡代々幡村字代々木三百番地自宅出棺午後三時青山祭場に於て神葬執行致候
九月十九日
立花小一郎
友人總代 野田卯太郎 山形閑

瓢の旗風 (557)

番衆浪人
筒井年峰畫

諭策(廿四)

勝家はそれと見て。
「市殿か……」盛政は言も無く、苦々しき態で會釋した。
「殿様！玄蕃殿も、幸い此坐にあらせる故、妾の申すこと……」と坐に著いて容を改めたお市殿。
「長濱の伊賀殿は、先頃より様々の噂を聞きまする。よしや、それが、敵へ內應ぢや、第一こゝに證據がある」
「ナニ、證據……」と勝家は眼を睜つた。
「伊賀は丸岡に預けをいた妻子を、密々に長濱へ引取り申した、叔父御に沙汰もせいで、密々に妻子を引取る、正に敵には饋へぬ存念ぢや！」
「ム、」
「これが、內通で無うて何ぢや？」

噂ばかりにもせよ、殿様が長濱へ御入らせは餘りに御輕々しう……」
「オヽ、叔母御ようぞ云はれた！」
平常は頗る反目の態の玄蕃盛政も、此時は大きく點頭いた。
「我等はいつぞやも左近に申した、左近もそれ案じて、間者を長濱へ入れ常方の不破彦三と測らずも長濱城外にて出會のしたこともある。聞けば重職の木下半左衛門羽柴方の大谷平馬なるものと親近の緣りありとか其上に彼の伊賀は、叔母御や我等を眼の上の瘤と忌み厭ふぢや、日頃より叔父御にもよう無い、旁彼奴の心事、怪しいと云ひたいが、必定、

「如何にも、玄蕃殿の申され條、至極御道理に存じまする」とお市殿は聲に力を入れて。
「筑前よりは味方の殿が恐ろしう御坐ります、殿様、曲げて長濱への御出陣は御見合せ……」
「如何様ナ……」とこゝに勝家は聊か其の鋭鋒を挫かれた形である。
反目同士のお市殿と盛政とは、圖らずも伊賀守に對しては、一致したのであつた。しかも、それは敢て讒謗と云ふのでは無いので、實にもう其以前から、伊賀守勝豐は、彼の木下半左衛門に説得されて羽柴方であつたのである。

「宜い！さらば今一應長濱へ斥候を遣はさう……」と勝家は斷乎と云つた。
「それが宜御坐る。勝手知つたる不破彦三を……」と玄蕃は我意を得たりとばかりに云つて、直ぐと不破彦三を江州長濱へ遣はした。
何がさて、氣が氣で無い。一日千秋の思ひで、待ちに待つて居ると、それから三日目。
「殿！大事で御坐る……」と轉ける様に座に入つたは、老臣の山路將監。
「何と？」
「伊賀殿御大切！」
「ヤ、」言も出ない。內應とか、反間とか、疑の眼を以て、斥候を遣はした其斥候の歸らぬさきに、こゝに勝豐の死を聞かうとは……
「彦三はまだ歸り居らぬかッ」
「未だ歸りませぬ、勝豐殿！さても御可憐しい事で御坐りまする」
「あの時出陣の致し居つたら、彼の死目に逢へたもの……、エヽ市は居らぬかッ、玄蕃を呼べッ」勝家はくわつと眼をいからせて、バリ〳〵と齒を噛んだ。

病者の手記

佐山 幽明

九月一日
愈々今日から秋に入つたのだ、なんだか斯う思ふと庭の木の葉擦れの音が寂しく四季の凋落を思はせる。朝牛乳の温まつた瓶を握つた時、血の氣の少ない僕の指先に言ひ知れぬ悲哀が湧いた。

九月二日
午後本町へ花と蠟燭を買ひに出る。
昨夜夜更けまで、つかない事を思はされた所爲か痛くあの事が氣になり、今朝目が覺めると頭が呆として暗い冷たい、例の重苦しい影が心の底で蠢いて居る。
枕邊にはタゴールの『生の實現』が所在なささうに半分めくられてある——昨夜の儘なのだらう——ニッケルの燭臺に蠟燭が三本七分通り燃えて三分は冷たい薄青い色をして時の外に超越して居る。

九月三日
昨夜から考へ出した事があまり架空的なので全く頭が疲れきつてゐる。
僕は一人奨忠壇の森の中へ佇んでゐた。いつ、誰が僕を抱いて此處へ連れて來たのか……？僕は何事か考へて路を歩いてゐたのに違ひないそれにしても何故斯麼所へ來たのだらう。
何處かの森でチユン！チユン！と小鳥が鳴いてゐる、小谷の水は冷やかに、私とお前さんとは何の交渉もないと言つたやうにチロ〳〵流れるゐる。
僕は草の上に腰をおろして膝の上に腕組をして其の中へ頭を突込んだまゝ、暫く原始時代を空想して滅入るやうな悲哀を感じつゝ一人木と木との間から蒼空を漠然と見上げたりなにかした。
僕は今日何をしたのだらう？
自分で自分を意識した時にはもう日も暮れて、蠟燭の灯のまたゝく四疊半の床の中で無心に天井を見詰めてゐた。

九月四日
午前十時頃例の醫者を訪ふ。泣くやうな思ひで歸つて來た。處方箋を机の上に置いたまゝ今日から自分で藥を調合して飲まなくてはならんのかと思ふと便りない思ひがした。『醫者も俺の病氣には飽いたのだらう』と獨語して涙ぐんだ。
少しでもと思つて『藥の惡魔』と云ふ創作の續きを書いた。これは僕が死ぬまでには是が非でも書き終へなくてはならないものである。

九月五日
靜かに物を思へば衰弱した俺の神經に——
電車の軋るもののしき音の聞えて來る。
眼閉づれば七色の怪光は瞳の奥に渦巻けり。
唖！何事にも戰き易き吾心よ
お前は暫く凝然としてゐろ
奇蹟がお前のまへに現はれて
俺の神經を信仰の中に包むまで
この日の晩の十時頃救世軍の石島大尉と語つて『あなたは神を信じないけれど時々神と云ふものを思ふ事があるのです』と最後に僕の心をみすいたやうに斯う言はれて、何だか恐怖ないやうな氣持がしたので夜の二時頃まで信仰と云ふ事に就いて考へた。

皮徽科
皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

京城南大門通三丁目(藤本精肉店横入る) 入院隨意 胃腸病院 院主 佐々木杏造 電話一六五九番

■地方青年の立身成功法 東京市本郷區新花町大日本通信農學校は最も古き歴史を有し居るが今回甲種農學教授法に大刷新を加へ第六回新學期を開講せり同校は二條公爵柳原伯爵中島子爵佐藤博士宮部博士河村學士四元學士以下博士學士數十名の熱心なる經營及び教授法に依り今日の盛況を呈するに至ることは既に世の認むる處にして甲種農科に加へて中學科をも併に數へ居るを以て如何なる貧家の子弟と雖も自宅に家業の傍ら僅少の入らぬ短日月にて修業し得ると云へば便利此の上もなく現代の青年は悉く同校へ宛てハガキを出せば立身成功案內校則總論を無料進呈すると云ふ

僧の執念

(ミツワ文庫四●九)

市川段四郎談

上進の際殺されて執念其席に殘る眞龍之を一喝して執念を散せしむ

僧侶が執念の爲に墮落するとは芝居によくありますが、鳴神、清玄法界坊なども皆この例でございますが此も立身に執着して幽靈となつた話でございます。中國の或村に曹洞宗のお寺がありまして此寺の和尚禪僧の身でありながら金錢の爲には何物も顧ないと云ふ有樣餓鬼道とはれた小僧は最早相當の年配にも達して居ることとゆゑ是非世間並にお長老様と呼ばれて見たいので和尚に歎願して見たが和尚は經費を惜しんで中々聞入れないので小僧は終に惡心を起し小雨そぼ降る秋の暮、和尚の寢靜まるを待ち構へて枕元へ忍び寄り和尚が命の綱と頼んで居る金財布へ手を懸けた咜驚仰天大目を醒した和尚の見幕に小僧は一大事と前後の辯も忘れて枕刀を取つて和尚を切倒し金引攫つて逃げて武州豪德寺へ參り此處でお許しを得て立職の相談が整のひました。門前が出て愈々法戰の當日になりました。門から入つて來る田舎の和尚を見ると郷里で殺した本師なのでその日の首座、殺人犯の小僧は大に驚いて稀彌壇の裏に隱れ袈裟を頭から被つて潜んで居りますと和尚無言のまゝ寺へ入つて來て稀彌壇の周圍を廻りながら頻りに探して居りました。もう大概立去つた頃とそつと頭を上げて後を見ると『己れはこゝに居る』と此處へ飛び掛つたか此小僧の首を押へつけたので、その儘息は絕え果てて了つた。様子を眺めて居る中へ一旦ニツコリ笑つて田舎の和尚の姿は搔き消す様に消え失せました此後一年に二度の結制と法戰の日になると首座の第一位に著くと不思議にも何時も誰か引出されるその都度何者とも知れず『首座は誰だ』と物凄い聲で叫びますので此豪德寺では一時此結制を中止しましたが、それでもなるまいと云ふ譯で首座の木像を造つて此を第一位に据ゑ一年二度の首座は第二座に著くことにしましたさうです。處が眞龍和尚と云ふ人が主職になりました時此木像を退けさせて自分の木當の席へ著きました。折も例によつて幽靈が出て來て眞龍に『首座は誰だ』と問ひかけた時眞龍は透かさず『首座はお前ぢや』と大喝一聲したので幽靈は忽然として度脱するが出來たと申します。涼しさに向ひます折柄斯樣なお話も相應しからうと存じまして申上げました。

九月は殘暑の節と申しますもの、朝夕には最う秋の氣が冷やゝかで入浴は暑苦しくも無く誠に快よい時でございます。入浴の際に誰方にもなくてならないものは優良な完全洗料ミツワ石鹸で濡れて脂の出た肌へ此ミツワ石鹸を塗りまして靜かに撫ますと汚垢は此石鹸の作用で此泡沫に包まれますから此をお湯で流しますれば汚垢は穩和に落ちて皮膚は刺激されて荒れる樣なことはなく營養を助けられて皮膚は生々として美しくの機能になります。

▲市川猿之助曰く 舞臺から出ました時の樂屋着の衣服、著流して汗臭い衣服、洗濯し立てと臭い衣服何れにしても

君が代
一 白毛赤毛でも心配なさるな
白毛染君が代は毛を損せずくせ毛を直し美しく眞黒に染り禿る事なく二度目より毛のはへ際丈け染むればよし今回發賣の『別製』は殊に使用輕便なり論より證據一度染て御覧なさい
定價 別製廿八錢 特小廿五錢 並小廿錢
白毛染君が代製造元 東京市淺草區森田町 本舖 山吉商店 長電話下谷二八二番 振替東京一九三七二
大阪市東區北久寶寺町四丁目 關西代理店 伊藤朝日堂 長電話東七四八 振替大阪二九〇番
◎本品は全國到る所の藥店化粧品店に販賣す

內科 小兒科 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

二三五
庭職業
男女何人を不問初就業一日廿錢十日後卅錢一箇月後五十錢內外の利益を確に得らるゝ好業●賃仕事は年中無休製品は永年買受を契約し始め業務を貸與す●今回業務擴張の爲め二百名に限り撰込順に依り型紙及び製品を呈す●六典御申込は往復葉書にて詳細記念品見本入の合せ方は郵券十二錢封入
東京市本郷二條大橋東入 中川商會 電話上二四七一番 振大阪一四九六七番

らい病
變ふる勿れ秘密の療法あり
●手足のしびれ●こぶれ様の腫物●なまづ様の斑紋●眉毛頭髮のぬけるに悩む方は急ぎ早く切手七錢二錢郵券送れ●栗粒様の秘法を教ふ一家一族の不安を除かれよ治滅し
大阪市南區笠屋町四八 山田光治郎

しま織
◎冬物品揃御一報次第柄見本進呈す
廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替貯金口座大阪一二〇六九

急告
◎痳病專門藥唯一錠
急性慢性痳病及び膀胱炎しよかち等の淋毒より來る病症は淋菌を撲滅すると共に安全に體內より洗滌すべき驅藥により其目的を達す現今幾多の痳病藥は中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特効を併有する痳病專門藥は唯一錠なり百發百中なき方は速に此良藥により不安を去られよ四十五錠入八十錢九十錠入一圓五十錢百八十錠入三圓
◎全國有名藥店にて販賣せり・痳病養生法無代進呈送料四錢
發賣元 東京市牛込區神樂坂上 中西藥局 振替東京一五〇〇番

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三三一番
全羅丸 △九月廿五日 釜山發
京畿丸 △十月五日
黃海丸 九月 五日
咸鏡丸 九月廿九日
門司より釜山各港寄港雄基間ことに△印は元山釜山間直航する
昌平丸 九月二十日 元山發
鐵城丸 九月廿六日 元山より各港經由雄基行
竹清丸 九月二十日 元山發
忠清丸 九月 日 城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司
永興丸 毎月廿八回 元山發 又は長崎延長 北久味、五島浦行
嘉島丸 九月廿五日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發 長生浦、方魚津寄港
襄陽丸
三浦丸 九月廿四日 釜山發 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸 慶寶丸 日 各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目毎 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
慶興丸 九月二十日 木浦發 各港經由濟州島行(月八回)
公州丸 九月 日 木浦發 南多島海列島行(月三回)
宗信丸 九月廿二日 仁川發 海州他各港經由、鎭南浦行
江原丸 九月二十日 仁川發 青島直行、大連、芝罘行
麗水丸 九月二十日 仁川發
初丸 九月廿四日 各港經由木浦行
全州丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 江華島、橋洞島、海州行
支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願ひます 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話一二七〇)

日本郵船仁川出帆
大連太沽牛莊行
商河丸 九月 日 正午出帆
三砂丸 十月 八日 正午出帆
相模丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

漢江沿岸春川行出帆廣告
日本形帆船に日人船夫二名を乘せ荷物の運送を致し春川迄四日五日貸切は三日に著き(御家越には御便利)ますから御引立を偏に願上ます
元扱店 龍山元町河岸(電話一四四番) 副島運送店
京城取次店 南大門 取扱 酒井運送店 電話二二九一番
春川支店 いろは旅館 電話三七番

尼崎汽船仁川出帆
秀吉丸 九月廿二日 後五時出帆 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸 九月 日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
大有丸 九月 日後五時出帆
土海丸 九月 日後四時出帆 群山、大阪行
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
小倉丸 九月 日後五時出帆 門司、神戸、大阪行
小倉丸 九月 日後十時出帆 元山城津清津行
立神丸 九月 日後五時出帆 門司、神戸、大阪行
立神丸 九月 日後十時出帆 元山、清津、浦鹽行
第三琴平丸 九月 日後九時出帆 元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 九月 月後六時出帆 門司、宇品、神戸、大阪行
天兵丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
釜山本町埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

平安丸 九月廿七日 群山發
九月廿二日 若松發
往航 群山、木浦、門司、若松行
復航 門司、木浦、群山行

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引なるて運賃切符發賣仕候
○外航所監航路(巡洋航路を除く)直通切符乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
漢城丸 九月廿二日 午後五時出帆
溫州丸 九月三十日
漳州丸 九月廿六日
木浦、釜山、長崎行△は鹽原驛の前に寄港
安東丸 九月廿四日 午後二時出帆
△天智丸 九月 日
鎭南浦、大連行
安東丸 九月廿 日 午後二時出帆
天智丸 九月廿八日
鎭南浦關門神戸大阪行
鎭南浦丸 九月 日 正午五時出帆
漳州丸 月 日
群山、釜山、橫濱行
須磨丸 九月 日 午後四時出帆
チヨイサン丸 九月廿八日
大連直行
千珠丸 十月 三日 正午出帆
チヨイサン丸 九月廿三日
元山、清津、浦潮行(釜山出帆)
△行城津西湖津に寄港浦汐不寄港
宮島丸 九月廿七日 午後九時出帆
神島丸 九月 日
△城津丸 九月廿二日
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 九月廿三日 午前四時出帆
新高丸 十月十一日
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候
○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆
第十共同丸 八月廿二日後七時入港 八月廿四日前九時出港 芝罘、大連行
朝鮮沿岸主要港にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にて南島行定期船に接續荷客聯絡取扱可仕候 と同額運賃にて通し輸送御取扱前航船
第二阪鶴丸 九月 日 後九時出港 九月 日 城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第三共同丸 九月 日 九月二十日 前八時出帆 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 榮町(電話二四四七番)
南大門通(電話二六八、二〇七) 京城取次店 河村運送店